

品質を大切にする 〈技術の日立〉

◇——緑につつまれた近代的な工場で生まれる——◇
クールな世界の代表選手

さわやかなランドの
白ま

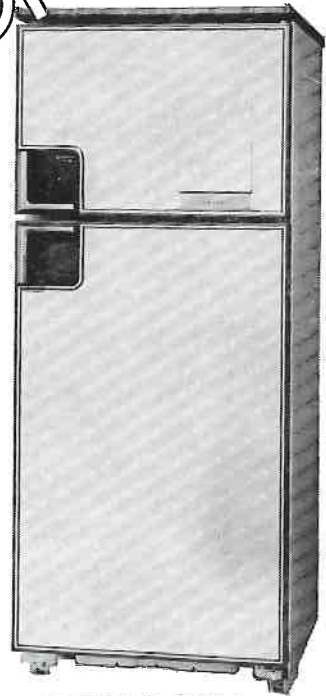


はい!氷



日立ドライエアコン

RA-220IDY



日立冷凍冷蔵庫

R-205TP

ダイナミックな生産設備と徹底した品質管理のもとに、〈技術の日立〉にふさわしい製品を世に送り出すため、たゆみない努力を続けています。



HITACHI

株式会社 日立製作所 栃木工場

栃木県下都賀郡大平町富田800 〒329-44 TEL.02824-3111

3月、台湾で1次リーグ(日・韓・台)

モントリオール・アジア予選(男子)決まる

IHF(国際ハンドボール連盟)は、昨年12月12日、キエフ(ソ連)で理事会を開き、宙に浮いていたモントリオール・オリンピック男子アジア地域予選の試合方式などについて協議。その結果、日本、韓国、クウェート、台湾の4ヶ国が、まず3月15日から21日まで台湾(台北市)に集まり2回総当たり、その勝者が3月28、30日(または4月1、4日)の両日、イスラエル(テルアビブの予定)でイスラエルと「アジア代表決定戦」(2試合)を行うことに決めた。

この決定は、世界女子選手権代表チームの団長をつとめて12月15日帰国した渡辺慶寿常務理事(技術部長)によって日本協会へ伝えられ、そのあと12月17日付でIHFから公式文書も届いた。(日本誌2頁参照)

日本協会・荒川清美理事は「これがIHFの最終決定」と判断し、12月24日のJOC(日本オリンピック委員会)総会で説明、承認をうけ、昨年4月以来、くすぶりつづけていた予選問題は、ようやく「全面解決」した。

日本協会は、ただちに代表(予選)チームの選考日程など「予選突破」への準備に入った。クウェート、台湾との対戦は史上初である。

代表決定戦はイスラエルと

日本協会が10月以来、働きかけていた台湾への遠征と台湾との対戦をさけたい、とする要望が見送られた点からすれば、今回の決定は、必しも満足いくものではなかったが、荒川理事は、渡辺(慶)常務理事から報告をうけた直後の記者会見で「これ以上反対しても混乱を招くだけ」との判断を示し、IHF決議の受けいれを明か

アジア表	3月28日~30日 又は4月1~4日 イスラエル	リーグ戦 (3月15日) 台湾	日 本	韓 国	クウェート	台 湾	イスラエル
------	--------------------------------	-----------------------	-----	-----	-------	-----	-------

らかにした。

もちろん、その裏には、JOCや日本体協との接触で、台湾への「遠征可能」を感じとっていたこともあるが、一昨年の男子世界選手権アジア予選以来、つねに日本協会が予選方式に注文をつづけて、IHF側も、かなり「アジアの事情」をみこんだことと、今回も9月、プレオリンピック(モントリオール市)で、荒川理事長がIHF事務総長M・リンケンバーガー氏(西ドイツ)と会談以来、2ヶ月にわたって、IHF筋が「日本の意向」を配慮してくれたことを荒川理事長なりに「評価」したものであろう。

IHF「政治介入」嫌う

IHFが、日本の働きかけを退けたのは、荒川理事長によれば「日本体協やJOCが中国とどういう関係であれ、IHFの決めた予選方式を変更する決定的な理由にならない」といういつもながら「政治介入」を極度に嫌う姿勢が総てである。

ただ、昨年6月末の、予選開催地メ切り時点で、意思表示しなかつた台湾に、4ヶ国集結の1次リーグを引き上げるよう要請したのはIHFと消息筋はみており、この間のいきさつは明確でない。

また、当初、1次リーグは日、韓、台の3ヶ国参加と伝えられていたが、急きょクウェートが加わった。

この点について、リンケンバーガー事務総長は、荒川理事長に「クウェートの了解をとりつけていざれにせよ、昨年4月、エントリイ発表以来、イスラエルの立候補など、さまざまな曲折を経てようやく予選開催の見通しがたったことで、日本協会関係者は安堵している。

なお、日本協会は、今回は当初から予選会の誘致を行なわぬことに決めていた。

JOC総 日本協会・荒川理事 会も承認 長(JOC委員)は、12月24日、東京渋谷の岸記念体育会館で開かれたJOC総会で、IHFの示したモントリオール・オリンピック男子アジア予選の試合方式を報告、同総会の承認を得た

JOCは「日中スポーツ交流に關する3原則」で、台湾で行われる国際大会には参加しない、などを申し合わせているが、「オリンピック予選は例外」との見解で認めたもの。

「ハンドボール」

51年2月号(第183号) 目次

アジア予選決まる……………	(1)
審判に日本ペア……………	(2)
(アジア予選)……………	(18)
各地域予選たけなわ……………	(6)
日本リーグ実施へ……………	(17)
第8回世界女子選手権予選リーグ……………	(15)
順位リーグ……………	(12)
決勝リーグ……………	(10)
記録にみる……………	(8)
第2回東独交流……………	(17)
「五輪イヤ」を迎えて……………	(15)
……………竹野 幸昭……………	(12)
AHFついに結成……………	(10)
……………竹野 幸昭……………	(5)
モントリオールへの道……………	(19)
市民ハンドボールの芽……………	(21)
佐賀国体新配分決まる……………	(21)
第27回全日本総合選手権……………	(23)
全日本総合に拾う……………	(24)
日本ハンドボール史に……………	(29)
……………協力……………	(31)
IHF審判講習会報告④……………	(32)
近畿・関東実業団……………	(36)
実業団トーナメント展望……………	(37)
各地の記録……………	(38)
編集後記……………	(40)

【表紙写真】世界女子選手権予選リーグ・日本×ノルウェー戦(50年12月5日・ソ連ヴィルニウス市) 〓全日本女子選手団提供

日本人審判員、初の「国際進出」

オリンピック予選(台湾)で3試合担当

日本協会は昨年12月24日、IHF(国際ハンドボール連盟)から、モントリオール・オリンピック男子アジア地域予選(日程)の公式文書(12月17日付)を受けとり、発表した。日本人審判員(ワンベア)が選出されたことも判った。

日本人審判員の国際舞台登用は日本ハンドボール界の永年の宿願。もやもやした空気に包まれていたアジア予選問題の最後で、思わぬ光明がさしこんだ印象である。

なお、アジア予選(1次ラウンド)で日本は、クウェート、台湾、韓国に順に対戦する。

クウェートからも一組

IHFからの連絡によると、アジア予選第1次ラウンドの審判は日本、西ドイツ(フアーク、ロス、マニート組)クウェートの3ヶ国から各一組が推せんされて全12試合の担当が決められるという。

このうち、日本組の割り当ては韓国×台湾1回戦(3月15日)、台湾×クウェート1回戦(17日)、クウェート×韓国2回戦(20日)の3試合と発表されている。

本誌が切り(1月15日)までに、氏名の発表は行われていないが、現在、IHFのオフィシャル・ライセンスを交付されているのは安藤純光(日本協会審判部長、法大出)、佐野和夫(東京教大出)、岡前義春(日体大出)の3氏だけで当然このなかからワンベアが編成されることになる。

日本協会の悲願が成就

日本人審判員の「国際進出」は

日本協会の悲願であった。

2年に1度開かれるIHF審判講習会への出席を恒例化し、いわゆる「大本山」とのパイプをつなぐ努力を重ね、5年前の秋、この分野の重鎮であるE・ホルレ氏(スイス、現IHF審判・規則委員会委員長)が来日した際には、当時国内で折紙つきの5ペア(10人)がデモンストレーションを行って見せるなどした。

しかし、なにごとく欧州中心の色彩が濃い国際ハンドボール界のなかでも、審判畑はとりわけその体質が強く、容易に門戸は開かれなかった。

日本協会の尽力はつづき、荒川清美理事長など、ホルレ氏と顔を合はせて「ところで話があるのだが」と切り出しただけで、「判った、例の件だろう」と云われたホドだ、という。

待っていたチャンス

すべてを、ヨーロッパの目と手で管理しなければ気のすまぬIHFも、ミュンヘン・オリンピック(一九七二)を機に、少しづつグロバルな施策を打ち出しはじめ、48年4月、第5回世界女子選手権アジア予選・日本×韓国戦(東京、大阪で各1試合)の第1戦を日本側、第2戦を韓国側審判員で行うよう指示してきた。(日本誌106号参照)

予定どおり試合が行われていれば、この時が「国際進出第1号」になっていたわけだが、韓国の棄権で日本の不戦勝となり、流れてしまった。

その後、48年秋のユーゴ戦、49年秋の東ドイツ戦など、国内で開かれた公式戦の場を積極的に活用チャンス到来を待っていた。

使用球は「モルテン」か

苦節38年、栄光の扉をようやく開いた日本協会審判部の拡充は近

年めざましいものがあり、執行各機関のなかで、国内ネットワークを、まっさきに完成させた部門でもある。

現在、発給されているライセンズ(A-D級)の総数は、約600名と云われ、かつて技術、総務、審判など一人何役も兼ねた時代から、安藤審判部長らの目指す「レフェリー・ソサイエティの確立」に向かって、着々と歩みを進めている。

今回のノミネートは、国内全レフェリーに、希望を与えるものでさらにステップして、世界選手権オリンピック(編集委注・モントリオールオリンピック)には、日本人審判員は含まれていない)で、レフェリングでできる日の近いことを示している。

なお、第1次予選のウィットネス(立ち合い人)はE・ホルレ氏使用球は、昨春、IHF公認をとった日本製「MTH3」(モルテンゴム工業製)になる模様。決勝ラウンド(対イスラエル)については、すべて未発表である

公平を欠く組み合わせだが

さて、審判界に対する「朗報」のため、焦点がずれたが、予選問題の解決は、心労が長く大きかっただけに、関係者は、一様にホッとした表情。

全日本男子・竹野奉昭監督は「

必ず行われると判っていないながら、具体的なことになる、まったく不明というのは、選手の士気に影響してくる。これで落ち着いてトレーニングできる」と張り切っている。

それにしても、IHFは、思い切ったと云おうか、苦しまぎれにと云おうか、異例の組み合わせで、事態を「収拾」したものである。エントリー15ヶ国のうち、イスラエルは、1カード(2試合)だけ

で、代表権を手にするかも知れないのだ(他の4ヶ国は4カード)。公平を口ぐせのIHFにしてはめずらしいことで、日本協会のある役員は「最初の段階で、このような組み合わせが発表されたら、猛反対しただろう」という。

また、別の役員は「日本の提案していたナックアウトシステムを退けてまで採用した案にしては策がない」と苦笑する。

意外なクウェートの参加

荒川理事長も12月15日の記者会見(東京)で「これ以上反対しても混乱をまねくだけ」と語り、不本意な受諾であることをにおわせている。

一日も早くメドをつけたら、という気持ちだが、変則的な組み合わせを、受け入れさせたと云え、IHFにしても、プレオリンピック(昨秋9月、モントリオール)の時

荒川理事長へ内示したアジア二分案を、あっさり捨てているのは解決を急いだからにはかならない。興味深いのは、日、韓、台のグループにクウェートが参加を「承諾した」(IHF文書)ことである。

クウェートが台湾に乗りこみ、台湾と対戦するとは、日本協会筋はみていなかった。

荒川理事長は「クウェートは、イスラエル以外などどこにでも行く」と云っていたのではないかと推測しているが、1月14日、中国などによるアジア連盟(AHF)が結成されたこともあり、「なお波乱ぶくみ」とする消息通もある。

台湾協会が3ヶ国を招いて主管を名乗りでたのは、意外とするムキが強いが「IHFは、台湾開催に自信をもっていた」(荒川理事長)。4月の(昨年)のエントリー切り後からならぬかの働きかけが行われていたのだろうか。

しかし、昨夏8月、台湾に旅行した日本のハンドボール愛好者から本誌が聞いた話では、開催(予選誘致)の気配はまったく無かったとのことで、ここ二、三ヶ月の間にまとまったのではないかとみられる。

ちなみに、今回の予選は、航空費は全額参加国負担、滞在費(役員4、選手16以内)は台湾協会負担、レフェリー経費は4ヶ国均等負担である。

楽観許せない代表権
組み合わせはともかく、台湾開催は、本誌10号既報のとおり、JOC(日本オリンピック委員会)、日本体協の「日中スポーツ交流三原則」がからみ、なりゆきが注目されてきた。

日本協会がIHFに対して申し入れた「台湾での開催及び台湾との対戦はさけて欲しい」とする要

▽第1日	(3月15日)	日本—クウェート	韓国—台湾
▽第2日	(16日)	日本—台湾	韓国—クウェート
▽第3日	(17日)	日本—韓国	台湾—クウェート
▽第4日	(19日)	日本—台湾	韓国—クウェート
▽第5日	(20日)	日本—韓国	台湾—クウェート
▽第6日	(21日)	日本—台湾	韓国—クウェート

◇…1次ラウンド…◇ =台湾=

◇…決勝ラウンド…◇ =エルム=

▽3月 下旬または1次ラウンド

望は、すげなく却下されたが、JOC、日本体協の「オリンピック予選は特別のケース」という判断に救われた。

昨秋4月以来、この問題で苦りきっていた荒川理事長(JOC委員)は、12月24日のJOC総会後

のように、12月24日のJOC総会後

の8ヶ月間の苦勞は、なみたいていのもではなかったようだ。

なお、日本協会自身も、48年1月の全国評議員会、同理事会で、日中、日台との関係は「JOC、日本体協の意思尊重」と決議しているが「オリンピックなどの予選では、台湾との交流を拒むものではない」としており、問題ない。

残る課題は、日本が、激しい予選を勝ち抜いてモントリオール行の切符を手にするか、どうかだ。

若手中心の韓国、意欲的な台湾初登場ながら地力を秘めるというクウェート、打倒日本に手ぐすねひくイスラエル……。

日本の優位不動とは云い切れぬ状態である。

一難去ってまた一難 荒川理事長

「……」どうして、こうも問題がおおいかぶさってくるのだろう」

——JOC総会(12月24日、体協)を終えて出て来た日本協会・荒川

清美理事長は、さすがに疲れた表情だった。

男子の「台湾行き」が、どうかにか解決したと思えば、すぐあとに、女子のオリンピック予選(3大陸代表決定戦)が、6月28日からワシントンで開かれるため、日本選手団編成に支障をきたす、という難題が待ちかまえていたのだ

「……女子チームは、勝てばアメリカ大陸に居残り、そのままモントリオール入りの予定。

そうなると、「往復利用」という規定の、日本選手団チャーター機を帰途に使うことができなくなり、航空費だけでも大変な支出。

1月末にも代表決定か

日本協会は、確定したアジア予選に出場の代表チーム選考について、1月24日の月例常務理事会(東京)で協議する。

今のところリストアップは、19名の50年度ナショナルチームによる第7次強化合宿(2月12、18日・神戸)終了後とみられるが、竹野監督と東コーチは、第7次合宿から代表チーム一本を望んでおり第6次合宿(1月18、25日・名古屋)後の1月末に決定も考えられる。

選手数は内規により14名。代表権獲得の場合、晴れのオリンピックチームの選考については、いっさい白紙である。

女子の3大陸代表決定戦(6月

晴れのブレザーコートも、敗れば自己負担という条件で採寸する現実の冷めたさ」だ。

「……」なんとか、予選出場は認められそうだが、負けた場合、60万円の自己調達が必要」と荒川理事長は複雑な面持ち。とりあえずIHF(国際ハンドボール連盟)に、予選会期の繰りあげを打診するというが、変更の見通しは暗い

28、7月4日・ワシントン)の代表に關しては、日時に余裕があるため、具体的な動きは伝えられていないが、2月末に、オリンピック候補選手を発表し、そのなかから選ばれる公算が強い。

なお、男女とも出場権を獲得した場合の役員・選手数は、1月28日東京で開かれるJOC(日本オリンピック委員会)総会でJOCにより決定される。

1月13日付で一部の報道機関が伝えた「JOC内示」によれば、ハンドボールは役員3、選手24(男女各12)である。ミュンヘン(男子のみ)の際は役員1、選手11、補助役員1だった。

VICTOR

■今日の声に耳をかたむけ 明日の技術に生きるビクター

さらに明るく、白もい
ちだんと鮮やかに!

18型 C-5218型

(本体)標準価格 **139,800円**

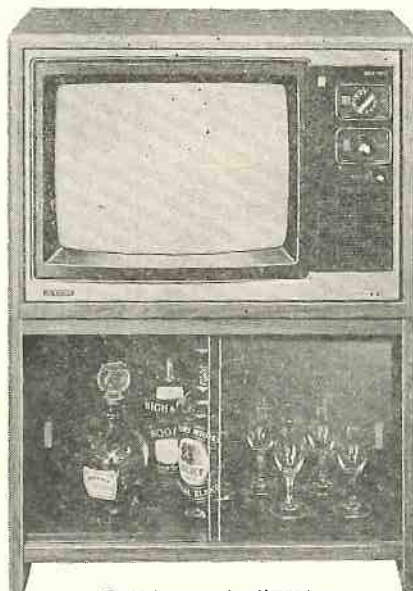
(アンテナ・工事費別)

別売り:テレビスタンド(ガラス戸付き)

CFT-521 6,600円



**ビクター
純白カラ**



●ビクターローンをご利用下さい

雷災からゴルファーを守る大崎のFYケージ



東京ゴルフ倶楽部

いま、安全なゴルフ場作りが、
社会的なニーズを呼んでいます。

もしプレー中に雷に会ったら、せっかくのナイス
ショットも、命がけて逃げなければなりません。
そんな時、安全な待避小屋が備えてあれば、あな
たのゴルフ場は完璧です。

落雷は、時、場所、人を選びません。安全な待避小屋
→大崎のFYケージを適所に設置して中に入れば、
雷災から完全に保護されます。



大崎電気工業株式会社

本社 東京都品川区東五反田二丁目二番七号

☎ (03) 443-7171 (大代表) 〒141

FYケージ

防雷シエルター

工業所有権出願中

特許3件

実用新案4件

意匠5件

商標1件

不屈の精神力養成へ

「オリリンピックイヤーを迎えて思う」

竹野 奉 昭
(全日本男子監督)

初参加をはたしたミュンヘンオリンピックから早や4年。オリリンピックイヤーを前にして全日本男子チームは、その強化策の一環として昨年12月、全日本総合選手権直後の一週間、初の試みであるコーチングスタッフ(竹野東)と少数指定選手の合宿を神奈川県葉山の大崎電氣寮で行った。

参加を指定した選手は19名のナショナルプレイヤーのうち僅か7名にすぎず、コーチと合せ9名が禁酒、禁煙を誓い、来るべき年に備えて心と体を徹底的に鍛えあおうとしたものである。

午前中は技術的なテーマのミーティング、午後は冬の海辺のランニング、そして夜はこれまでの主要国際試合のビデオ・テープを見ながら、各国選手の戦術研究と自分たちの動きの反省、個性を活かした連携プレーのディスカッションに費した。

特に、昨秋のプレオリリンピックでは、それまでの8mm重用からビデオテープ一本にしぼった資料作成を試み、今回、選手たちの手によって写されたテープを試写し

てみて、その効果と、新たな斗志を抱くことができた。

全19選手の中から数名をピックアップすることは、ある意味で冒険であったかもしれないが、ナショナルチームに属する各チームの選手が、「単独チーム」として行動する精神力をより強く養成するためには、こうした試みも必要と確信しての実行であった。予期した成果をあげ得たと思っている機会をみて、別の7人なり10人なりを指定して、いっそうの強化を企りたいと考えている。

さて、モントリオールにおける日本の成否のカギを握っている課題の一つに「時差の克服」がある。もちろん、その前に、アジア予選という大難関を突破しなければならぬが、これとても「時差」の問題はつきまといっている。

幸いにも、昨秋11月、伊豆修善寺のサイクルスポーツセンターで開かれた日本体協の第2回コーチ会議で、このテーマのリポートが行われた。この会議は、日本体協、JOC(日本オリリンピック委)共催、競

技力向上委主管によるもので、各競技団体の強化担当スタッフ140名が参加、ハンドボール界からは私と東嘉伸コーチ(男子)が出席した。

地理的に恵れない日本のスポーツチームが、欧米で開かれる世界選手権、オリリンピックの場に於いて、「時差」は常につきまとい、我々も、プレオリリンピック参加で改めて時差の克服が、大きな宿題であることを痛感していたものである。

「時差ボケ」と一口に云っているが生体の生理機能は地球の自転に同調する、固有の時間のリズムを持っている、人間のように「昼行性の動物」は、昼間は活動期、

夜間は休息期にあたる。

自律神経系の緊張、副腎皮質や甲状腺からの活動ホルモンは午前9〜10時に最高、夜間に向かって下向する。

体温、脈拍数、呼吸、血圧などを指標とする活動機能もこのリズムに合わせて、聴幹において統御されている。この様な調整装置は、生体時計とよばれている。

航空機でモントリオールに飛ぶ場合には、環境と生活のリズムは時差によって十時間のズレがあるため、生理的不調として、昼間ねむけ、夜間のねつき不良、食欲不振、疲労感、精神機能の低下などがおこる。

ミュンヘンオリリンピックでもそうであったように、

ただでさえ精神的な重圧度の強い場へ出向くのに加えて、この時差の負担、さらにドーピング検査など、オリリンピックに於ける心的な疲労はなみだいでではない。

ドーピング検査など、被検査選手のデータがととのえ終るまで全員待機であり、その精神的、肉体的疲労は正直のところ、想像以上の

ものであった。

オリリンピックという場合は、諸々の条件、環境に屈することのない「強い心」と「強い心」の闘いの場ということが出来る。

私はナショナルプレイヤーにはなによりも不屈の精神力が必要である、と考えている。

葉山の合宿も、その養成が最大の狙いであったし、多くの読者には、あるいは関係のない話であるかもしれないが、「時差」の口説に紙数を使つたのも、ナショナルチームの周辺に取り巻く課題が、いかに大きく深いものであることを、ナショナルプレイヤーを含めて、諸賢に知っていただきたかったからだ。

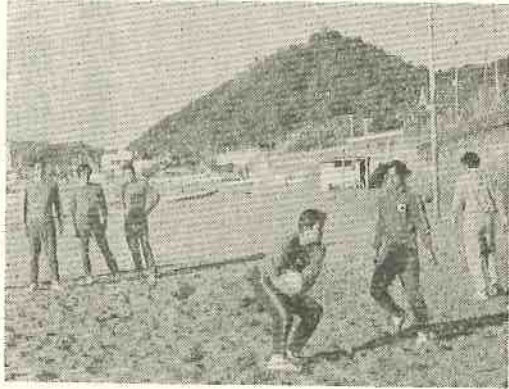
もちろん、技術的にも、我々は多くのテーマをかかえている。

とりわけ「スピード」は、日本にとってヨーロッパの壁を突破する不可欠の条件だ。

全盛の東欧勢に切りこむ頭脳と技能を持ち合わせているのは、日本だけ、という自信がある。それには、スピードでの勝負の完成だ――走り、動きのスピード、パス

キャッチ、シュートのスピード……来月十五日からは、いよいよアジア予選である。

与えられたチャンスを活かすべく、選手、コーチともども最大の努力を払うことを、新年にあたりお約束したい。



寒風の砂浜を舞台にした全日本男子初の「少数指定合宿」は、成果をあげた。

「日本リーグ」(男女) 今秋発足で準備

実業団以外にも参加の道開く

日本協会

「日本ハンドボールリーグ」(仮称)が、早ければ51年度下半期に発足する——日本協会は、昨年12月13日の月例常務理事会で懸案の「日本リーグ」問題について、総務・企画委員会から提出された基本構想案の大筋を認め、2月に予定される全国代議員会同理事会へ、「日本リーグ運営委員会規程(案)」と「第1回実施要領(案)」を提案することになった。

各常務理事の合意をみた「日本リーグ基本構想」の要旨は次のとおりである。

- ①日本協会の新しい事業として「日本ハンドボールリーグ(仮称・男女)」を発足させる。
- ②第1回「日本リーグ」の開始は、51年度下半期を一応の目標に予定し、準備を進める。
- ③「日本リーグ」加盟チームは、初年度に限り日本協会が別に定めるランキングによって、男女とも候補チームをノミネート、そのうち、加盟意思のあるチームを、男女最高8チームまで選出する。
- ④「日本リーグ」の運営は、運営委員会を特別編成して行ない、既存の団体・組織とは別個のものとする(原則として独立採算制)
- ⑤日本協会の認定する年度ナショナル・チャンピオンチーム(男女)は、これまでどおり全日本総合選手権の勝者とする。

ハイペースの具体案作成

本誌既報のとおり、日本協会は11月の月例常務理事会で、それまで全日本実連のペースで運ばれてきた「日本リーグ」問題の主導権を握りとり、日本協会の新しい事業として、数年来にわたるこの問題を改めて検討する、という態度を明きらかにした。

12月の月例常務理事会のなりゆき

き、それだけに注目を集めていたのだが、実連サイドが「日本実業団リーグ(全日本実団選手権)を日本リーグとする」という当初の態度に、あまりこだわりを示さなかったこともあって、すんなり「基本構想」がまとまった感じである。

もっとも、お膳立てした総務・企画委員会は、突然舞いこんだ話に、「日本リーグ」そのものは是非を論じる間もなく、いきなり実施プランを組み立てる作業に手をつけた、といわれる。

そうでなければ、昨年7月に口火が切られて以来、もたつきが目についていたこの問題が、こうもハイペースで「解決」はしなかっただろう。

学生チームも検討の余地?

基本構想のなかで目につくのは加盟チームを特定の分野に限定せず、発足にあたって「広く候補チームを推せんする」、「スタートの目標を51年度下半期に置いたこと」「独立採算制」の3点である。

加盟チームのノミネート法(別掲)は、先発している他競技団体の日本リーグではみられなかった試みだ。

この発想は「日本リーグは、全国関係者の支持によって実施されなければならない」とする荒川清美理事長の考えに基くもので、企業チーム以外は参加できまい、とする声が圧倒的ななか、どのような結果が現れるか興味深い。

一つのカギとみられるのは、学生界の動向だが、12月の会議に出席していた全日本学連・中沢重夫理事長は「日程と経済的条件が出揃ってみないと判らぬが、この両面に工夫があれば、学生チームがリーグ入りする余地はあろう」と話しており、また、あるクラブ関係者は「リーグ入りはともできぬが、例え第4ランクでもリーグ発足にあたってノミネートされるようなら光栄だ」と、この法に歓迎の意向を述べている。

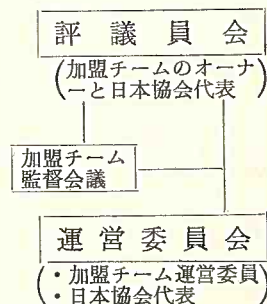
初動段階では、荒川理事長の狙いは、充分な手ごたえがあったとみてよい。

目標は「9月スタート」

問題はむしろスタート時期だ。目標におかれているのは、「9月」と伝えられ第1回リーグ(51年度)は、とりあえず1回総当たり土、日曜に祝日を加えると10試合日を予定でき、男女合わせて56カード(最高数)の消化は可能だが、会場確保に不安が残される。

また、嶋田新太郎総務担当常務理事によれば、1月末日に全候補チームのリストアップを終え、2月下旬までに各チームに加盟意思を問い合わせ、3月下旬には正式加盟チームを発表したい、としているが、現在の進行状態では最低1カ月のズレは避けられない。

そうなると、9月スタートは難



(注) 評議員会は当分の間日本協会代議員会が代行予定。

しくなり、10月団体、11月全日本学生、12月全日本総合とつづいたため、来年1月説も出てくる。

責任重い「運営委員長」

解決しなければならぬ課題は、ほかにも多い。看板争いになりかねなかった全日本総合選手権との関連は、はっきりと一線を画し、手際よさをみせたが、リーグ加盟チームを全日本総合選手権で、どう取り扱うかは、明確にされていない。

また、肝心の運営委員会の組織についても、青写真は出来あがっているものの(別掲)人材の確保は、いっさいされていない。

現在の構想からすれば、運営委員長のポストは、各全国連盟理事長に匹敵する要職だし、対外的責任という点では、日本協会理事長に比肩する。

導火役を果たした全日本実連に

日本ハンドボールリーグ（仮称）加盟チームノミネート（ランキング案）

	男子（延77チーム）	女子（延70チーム）
第1ランク	全日本総合①（大同製鋼） " ②（湧永薬品） " ③（本田技研鈴鹿） " ④（中大） 全日本実業団①（※大同製鋼）	全日本総合①（日本ビクター） 全日本実業団①（田村紡績） " ②（立石電機） " ③（※日本ビクター） " ④（ブラザー工業）
第2ランク	全日本学生①（※中大） " ②（大阪体大） " ③（日体大） 全日本教職員①（大阪イーグルス） 全日本実業団②（※湧永薬品） " ③（※本田技研鈴鹿） " ④（三景） " ⑤（大崎電気） " ⑥（三陽商会） 全日本総合予選2回戦敗者～4チーム～ (※大阪イーグルス) (※大崎電気) (※三景) (※三陽商会)	全日本学生②（東京女子体大） 全日本総合②（※立石電機） " ③（東京重機工業） 全日本実業団⑤（※東京重機工業） " ⑥（大崎電気） 三重国体成年女子①（※田村紡績） " ②（※ブラザー工業）
第3ランク	全日本教職員②（オールドイーグルス） " ③（大阪教員ク） 全日本学生④（法大） 全日本実業団⑦（日新製鋼呉） " ⑧（三菱レイヨン大竹） 全日本実連推せん～2チーム～	全日本学生②（日体大） " ③（東京学芸大） 全日本総合④（※ブラザー工業） " ⑤（※大崎電気） " ⑥（※田村紡績） 全日本実連⑦（東北ムネカタ） " ⑧（日立栃木）
第4ランク	全日本自衛隊①（海上自衛隊下総） 全日本実連推せん～2チーム～ 全日本学連推せん～2チーム～ 47都道府県協会推せん (各県内最優秀チーム)	全日本実連推せん～2チーム～ 全日本学連推せん～2チーム～ 47都道府県協会推せん (各県内最優秀チーム)

※印はすでに上位ランキングにノミネートされていることを示す。

別表のように、昭和50年度の主要大会を基準にして、第1ランクから第4ランクまで、男子延べ77チーム、女子延べ70チームをノミネート。
全チームに対し、日本協会が加盟条件を添えて参加意思の確認を行う。
参加意思を示したチームが、8チーム以内の場合は、そのまま発足となる。
8チームを越した場合は、ランキングにより、上位から8チームを自動的に選ぶ。したがって、男女とも第1ランクにノミネートさ

「日本ハンドボールリーグ」加盟チームの選びかた
(常務理事会構想)

ハンドボールも、新しい前進への布石となるよう充実した内容と堅実な運営が望まれ、そのためには、「決定」後のこれからも、充分な検討、周到な準備、思い切った行動を企及しなければならないだろう。
なお、日本協会は、参加チームが正式決定した時点で、運営委員会を編成するが、それまでの事務取扱いは、総務・企画合同委員会のなかに準備委員会を設けて進めることを決めた。準備委員会は1月24日の月例常務理事会で決まる。また、第4ランクの各都道府県協会による推せんメ切りは2月20日とされている。

れた各チームは意思表示さえすれば、加盟が認められるわけだ。
第1ランクの4チームと第2ランクの6チームが意思表示したような場合は、第2ランクの6チームから4チームを選ぶための「セレクションマッチ」を行って決める。逆に、加盟チームが男女とも4チーム以下になった場合は、今期の発足を見合すことが申し合はされている。

なお、このシステムが採られるのは、初年度だけで、2年目以降については未定。

第1回発足と同時に「2部リーグ」も設けて入れ替え戦制を採用か、各年度ごとに、新たな加盟希望チームによる大会を開き、その上位チームが入れ替え戦へ臨む、といったシステムが研究されている。

実連推せん、早くも決まる

全日本実連は、日本協会（常務理事会）の示したランキングに基づいて、第4ランク推せんチームとして、女子の豊田工機（愛知）、大和銀行（大阪）を決めた。

男子は、2月8日から舞鶴で開催の第7回全国実業団トーナメントの上位2チームを推せんする。

また、全日本学連は2月22日の全国理事会（東京）で「日本リーグ問題」を協議する予定。

も、新しい問題が生じる。
日本リーグが、日本協会の新規事業となる以上、全日本実業団選手権を、どのような形態であれ存続させなければならぬからだ。
最近2年間のように各地転戦の「日本実業団リーグ」とした場合「日本リーグ」に加盟しているチームは、負担が増える。
開催地にしても地方実連が未成

熟なだけに、苦しみそうだが。いっそう周到な準備を本誌への投書から推せば、地方の愛好家たちは、大きな期待を寄せている。
早々と、試合誘致を検討しはじめた地方組織もある、と伝えられる。
ちなみに、国内のスポーツ界で

「日本リーグ」を実施しているのはサッカー、バレーボール（男、女）、バスケットボール（男、女）、アイスホッケー、ソフトボール（女）、アメリカンフットボール（社会人）、ゴルフ（大学）、軟式テニス（実業団女子）の8競技で、バドミントンの計画も。各競技とも、それなりの評価を得て、実績をあげている。

東ドイツ優勝、日本は10位に終わる

第6回世界女子選手権は、昨年12月2日から13日までソ連・キエフ市を主会場に世界各地の予選を勝ち抜いた12カ国が参加して開かれた。

アジア地域代表として5度目の出場をはたした日本は、若手の成長で、上位進出を期待されたが、オリンピック出場への最後の機会となるヨーロッパ勢に突き放され、結局、アメリカ、チェルニジアをおさえての10位にとどまった。

ベストシックスによる決勝リーグは、史上特筆されるべき激戦となったが東ドイツが全勝、第4回(1971)以来2度目の栄冠を飾った。

第6回世界女子選手権 (12月2～13日) ソ連・キエフ市

予選リーグA組

日本(アジア地域代表、前回10位)の出場する予選リーグA組は、ヴィルニウス市にルーマニア(前回2位)、チェコスロバキア(6位)、ノルウェー(8位)が参加、12月2日から5日までの3日間に行われ、12月5日までの3日間に行われた。

前半、手痛いミス繰り返す

日本の第1戦(遠征第8戦)・チエコスロバキアとの試合は、12月2日午後7時から行われた。審判||リカルト、イシエル(スイス)観衆||約六千。

チエコ 21 (1110 | 103) 13 日 本

身長	得点	ポジション	名前	身長	得点
165	0	GK	田辺 下	175	0
175	0	GK	保原 田	165	1
165	1	FP	賀下 地	169	1
164	0	FP	積野 下	164	0
164	0	FP	藤野 下	170	0
164	0	FP	河穂 下	175	0
164	0	FP	穂積 下	183	0
175	0	FP	穂積 下	168	0
183	0	FP	穂積 下		
168	0	FP	穂積 下		

○……幻想的な素晴らしい開会式の感動が尾を引きすぎたのか、日本の前半はあまりにも悪かった。

後記 鈴木 義男

13 (2) PT

(4)

21 本

3、4分たてつづけにPT、バスローバに決められて先行を許したあと、相手ミスからの速攻で島田が1点を返したまではよかったのだが、その後の好機をミスで逃しているうちに、傷口が拡がり、9分1-5となった。

10分PT(古佐原)、16分松下のロングで3-5とし、このあたり緊張がほぐれたかにみえたが、再び攻撃リズムが崩れ、追加点は成らず。

チエコはバスローバ、ホルチノバを中心に、ロング、ポストを使い分け連続5点、10-3とした

○……後半、日本は、1分松下のロングが決まって調子を取り戻し小刻みに得点を返したのだが、15分9-14までが精いっぱい。前半の失点があまりにも大きすぎた。

相手の好プレーというよりも、日本は力を出し切れず、特に前半22回の攻撃チャンスのうち、7回もミスを重ねて、相手ボールになったのは痛かった。

また、第1試合に予定されたルーマニア×ノルウェー戦が、悪天候による空路閉鎖でルーマニアが着かず、我々の試合が、開会式直後に緑りあがったことも、初出場者が多いだけに、雰囲気になじめず、スタートの悪さにつながってしまった。(コーチ)

善戦も力およばず

モントリオール・オリンピック

「3大陸代表戦」に望みかける

日本女子は、第6回世界女子選手権で、上位進出をはたせず10位に終わったため、この大会で狙った「モントリオール・オリンピック出場権」(上位4カ国)は獲得できず、来年6月28日から7月4日までワシントン(アメリカ)で開かれる「3大陸(アジア・アフリカ・アメリカ)代表決定戦」に最後の望みをかけることになった。

同決定戦のアジア代表権は、昨年2月、今回の世界女子選手権アジア予選決勝・対イスラエル戦(東京)での勝利で、日本が手中にしている。

日本の第2戦・ルーマニアとの試合は、12月3日午後8時から行われた。審判||スベンソン、クリステンセン(デンマーク)、観衆||約七千

後記 鈴木 義男

身長	得点	ポジション	名前	身長	得点
170	0	GK	田辺 下	178	0
173	0	GK	保原 田	170	0
170	7	FP	賀下 地	177	0
171	8	FP	積野 下	177	0
176	0	FP	藤野 下	180	4
177	0	FP	河穂 下	173	3
177	0	FP	穂積 下	167	1
180	0	FP	穂積 下	154	0
173	0	FP	穂積 下	160	0
173	0	FP	穂積 下		
173	0	FP	穂積 下		
173	0	FP	穂積 下		
173	0	FP	穂積 下		
173	0	FP	穂積 下		

○……第1戦に比べ日本の動きはよく、素晴らしい出来といえた。

島田、古佐原、蔵田らがシャープなプレーで、ルーマニア守備陣を縦いポイント、ルーマニアに先手をとられながらも、5分1-2

10分3-5、15分5-7とつねに射撃圏内に相手置いていた。

満員の観衆も、優勝候補・ルーマニアと互角に試合を進める日本のプレーに沸き、盛りあがりをみせた。

○……しかし、ルーマニアはさすだいに押しこまれ、前半4点差。

18 (3) PT

(2)

24 本

第6回世界女子選手権日本選手団

- ・団長 渡辺 慶寿 (40才) 日本協会技術部長
- ・監督 井 薫 (37) 立石電機監督
- ・コーチ 鈴木 義男 (41) 田村紡監督

	【世】	【ド】	【親】
①和田 祥子 (23才) 立石電機 167cm(67k)	②	0	0
②久保 徳子 (23) 田村紡 161 57	⑤	0	0
③渡辺 久子 (23) 日本ビクター 161 63	⑨	0	0
④古佐原ひろ子 (25) 東京重機 153 49	⑪	10	0
⑤(主)島田夏枝 (25) 立石電機 163 54	⑫	11	0
⑥蔵田 照美 (24) 立石電機 163 57	⑬	15	1
⑦加藤美起子 (21) 日本ビクター 164 62	⑭	3	0
⑧額賀美恵子 (22) 日本ビクター 162 61	⑮	0	0
⑨山下恵美子 (23) 立石電機 160 57	⑯	4	0
⑩松下 仁美 (21) 田村紡 163 58	⑰	23	6
⑪菊地 春美 (22) 東京重機 163 64	⑱	2	2
⑫河田 栄子 (20) 田村紡 167 70	⑲	6	5
⑬穂積美保子 (20) 日本ビクター 168 65	⑳	4	1
⑭紀野奈々美 (20) 立石電機 165 64	㉑	4	6

①～⑭の内数字は今回の背番号
 ・右の○内数字は公式国際試合出場数
 【世】は世界選手権(5戦), 【ド】は東ドイツ公式戦(2戦), 【親】は東ドイツ親善試合(5戦)の通算得点

後半8分、いちどは3点差(15)まで盛り返したものの、再びたみこまれた。
 オフエンスはともかく、いぜんとしてディフェンス面で、体格の不利を克服できていないことを痛感させられた。

惜しまれる守りの乱れ
 日本の第3戦・ノルウェーとの試合は、12月5日午後6時30分から行われた。審判はスキन्दリヌチュカルチ(ソ連、観衆は六千ノルウェー) 16(79-5)8日 本

	【日】	【本】	【ノ】	【フ】	【ア】	【ク】
得点	0	0	173	0	0	0
0	0	172	0	0	0	0
0	1	169	0	0	0	0
0	1	169	0	0	0	0
0	1	170	0	0	0	0
0	1	172	0	0	0	0
0	1	179	0	0	0	0
0	0	188	0	0	0	0
0	0	171	0	0	0	0
0	0	171	0	0	0	0
0	0	171	0	0	0	0

○……上位リーグ進出の望みを断

後記 渡辺 慶寿

8(4) P T (3) 16

たれたとはいえ、一桁(7)9位のランクを得るためには、両国とも、この一戦に勝たねばならない
 ノルウェーは、すでに188回の公式戦キャリアを持つベテラン・アンデルセン、今大会最長身・ダニエルセン(188cm、75K)、巧者・アニスダールが中心。
 日本は古佐原、島田、蔵田と絶好調・松下を軸に素早い攻撃で対抗する作戦。
 ○……立上り2点をリードされた日本は11分山下、12分PT(蔵田)で同点。20分まで一進一退となった。

しかし、日本はPT失敗などで先手をとれず、逆に21分6-5と5度目のリードを奪われたあと、守りの乱れをつかれて連続3失点ノルウェーに余裕をもたせてしまった。
 ○……後半4分松下で6-9と反撃の出足は上々だったのだが、アンデルセンの力強いポストプレーを主武器に攻めあげてくるノルウェー攻撃陣の勢いを防ぎ切れず、残り5分14-7と、大勢が決まってしまうた。
 日本は、早いプレーをみせて持ち味を発揮しながら、相手の頑強さに屈した。(団長)

ルーマニア、チェコを破る
 ◇その他の試合

チェコ 21(1011-6)12 ノルウェー
 【得点者】【チ】パスソバ5、ホルチノバ、ポラチコバ各4、ホラローバ3、クツコバ2、ミカルチコバ、コザニョバ、アンギャロワ各1
 【ノ】アニスダール、クヌドセン、ブレイヌ、アンデルセン、ダニエルセン各2、アーギャルト、ヴェニスパー各1
 ルーマニア 13(76-3)10 ノルウェー
 【得点者】【ル】ゾース、アルギール各4、コヨカル3、ピッチゴオルタス各1
 【ノ】ダニエルセン5、ハンセン2ブレイヌ、アーギャルト、アンデルセン各1
 ルーマニア 20(119-2)6 チェコ
 【得点者】【ル】アルギール8、ゾース5、フルコオイ3、ボッシ2、コヨカル、ミクロス各1
 【チ】クツコバ3、ボレドピコバ、マチソバ、プルタコバ各1
 ○……ルーマニアの堅実な攻守が随所に発揮され、チェコはほとんどつけないスキがなかった。
 後半も同じようなペースで進み勢いづいたルーマニアは14分間に8ゴールを奪い、17-2と大勢を決めた。(この試合の記録は決勝リーグに適用される)

予選リーグA組個人得点①アルギール(ル)20②ゾース(ル)16③松下(日)11④蔵田(日)10

予選リーグC組
 東ドイツ 10(46-6)10 ソ連
 引き分け

予選リーグB組
 ユーゴ 16(97-4)5 デンマーク
 ハンガリ 17(107-3)6 デンマーク
 ユーゴ 41(2120-12)3 チュニジア
 ハンガリ 28(1414-3)3 チュニジア
 ユーゴ 11(47-6)8 ハンガリ

(この記録は決勝リーグに適用)
 【得点者】【ユ】イレリス2、スプリノビッチ、ルキッチ、アンティツク各2、トルティ、パラベルサ各1
 【ハ】アンギャル2、レルケス、ラキ、ステルビンスキ、クシク、バガス、M・ナギイ各1
 デンマーク 25(1015-3)8 チュニジア
 【順位】①ユーゴ3戦全勝②ハンガリ2勝1敗③デンマーク1勝2敗④チュニジア3敗

予選リーグA組個人得点①アルギール(ル)20②ゾース(ル)16③松下(日)11④蔵田(日)10

得0050100011002
ツルイルフトゲトツルツゼ

イベギテホルンエンシュウ
ドースヒールンフーイーレッ

【東】ゾパリゲロラジカテクマク
連クワナスココナワナクス

連クワナスココナワナクス
イウーレンンンンンンン

スロチレエエエエエエエ
ルブルカストススユカニ

【ソ】スポーツマイリグシサデポ
得00230021000002

○……大会緒戦で強豪の激突。
連が前回3位、東ドイツが同9位

であったがための皮肉である。
結果論からすれば、この両者が

大会の1、2位となったのだから
「もったいない」カードであった。

試合は期待どおり壮烈な展開と
なり、互いにチャンスを活かしあ

って一進一退をつづけた。
前半は、わずかにソ連が押し気

味で、特に3-4からリトステ
ンコ、マカレスが連続ゴールした

あたりは、波に乗ったかと思え
しかし、東ドイツの守りは固く

すくに追いつき、後半10分8-8
と8度目のタイスコア。

残り10分となって、いっそう壮
絶な攻防となり、息詰まる接戦を

つづけたが、ソ連は20分9-9か
らマカレス、東ドイツはそのあと

リヒターが得点しただけで、勝負
を決めるシュートは互いに放てず

50分間の死斗を終えた。
東ドイツは後半14分9-8のあ

と、ソ連は後半16分9-9のあと
それぞれPTを落とし、試合後、

両軍ベンチは、その不運を嘆いた
が、球史に残る激戦といえた。

（この試合の記録は決勝リーグに
適用される）

東ドイツ 14(9-4)6 ポーラン
(15-2)2

前回と順位変わらず日本

10-12位決定リーグ

予選リーグ各組4位の3カ
国による「10-12位決定リ

グ戦」は、12月7日から9日
までの3日間、ヴェルニウス

市で行われた。
アメリカから1勝あげる

日本の第1戦（遠征第11戦）
アメリカ（C組4位）との試合は

12月7日午後4時から行われた。
日本 17(16-5)10 アメリカ

後記 井 薫

○……大会前の2週間をルーマニ
アに滞在し、強化につとめたアメ

リカは、プレオリンピック（昨秋
9月、モントリオール）でカナダ

と対戦した時のフィルムで見たよ
りも、ロングシュートとポストブ

レーに進境のあとを示した。

ソ 連 33(22-1)2 アメリカ

ポーラン 21(11-0)3 アメリカ

東ドイツ 29(16-1)4 アメリカ

ソ 連 15(9-3)8 ポーラン

【順位】①東ドイツ2勝1分(得失
点差39) ②ソ連2勝1分(36) ③ポ

ーランド1勝2敗④アメリカ3敗

得00000081100000
身長163cm
173
183
181
180
179
172
168
172
168
165

カルツン トントイ レトドス
メーラン トントイ レトドス

【ア】トシミックワフワリハドジホリ
ワエルリ

本 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田
田 田 田 田 田 田 田 田 田 田

【和】和渡蔵山島古松額紀穂河菊
得00414250001000

前半20分5-4と日本はわず
か1点のリードだったが、これは速

攻の失敗で好機を逃したことで、
アメリカのバスケットボール式の

パスワークにとまどい、ポストか
らの失点を許した拙さがあった。

○……後半3分、いちどは6-7
と先行を許したが、ディフェンス

が落ち着くとともに、速攻への展
開にムリがなくなり、6分から10

分まで島田の連続4ゴール、11分

古佐原、12分山下で12-7とリ
ドを奪い、さらに雑になった相手

ディフェンスをついて松下、蔵田
らがロングを決め、勝負を決めた

○……オリンピック予選では、再
び顔合せが予想されるが、西ドイ

ツからコーチを迎え、さらに北欧
を中心とした強化転戦を企ててい

るだけに、アメリカのレベルアッ
プは警戒が必要だ。（監督）

立ちあがり一気の連続得点
日本の第2戦（遠征最終戦）
チェンジア（B組4位）との試合

は、12月9日行われた。
日本 26(21-3)10 チェンジア

後記 井 薫

○……前日アメリカと1点を争う
シーソーゲームを展開したチェニ

ジアも、試合開始直後、速攻でい
きなり7-0とした日本の波にの

ったプレーに、すっかりペースを
得0010402220010

得170160160163162170168
ジ・ク・チル・ト・セニミスト

【チ】チオエスクベザスガカクムフ
マラベ

【和】和渡蔵山島古松額紀穂河菊
得001701135233

本 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田
田 田 田 田 田 田 田 田 田 田

【和】和渡蔵山島古松額紀穂河菊
得001701135233

乱されたようだった。
日本の好調はそのあともつづき

10分以降は、若手で試合を進めた
が点差は開く一方だった。

コンビネーションという点で、
やや雑になる欠点をみせたもの

の各自の持ち味が活き、たのしい
ことだった。

アメリカ、アフリカ勢、それに
カナダに対しては、日本独特のプ

レーの確立が最善であり、最終順
位は前回と変わらず10位にとどま

ったものの、終盤へ来てからの若
手の動きと、3大陸代表戦（11前

頁参照）への手がかりをつかめた
ことは大きかった。

なお、7位以下6ヶ国の最多得
点選手として松下（23点）が決ま

り、多数の観客の拍手のなかで表
彰をうけたことは、本人にとつて

も、日本チームにとつても嬉しい
ことであった。

アメリカが11位に
アメリカ 14(9-8)13 チェンジア

【得点者】ア・ワシントン、ドワイ
ト、リリス各3、フォレスト、

ハレ各2、リンドセイ1
【チ】グッサニ5、カムミ、クハ

マッシ各3、スマドチ、スリマン
セ各1

◇10-12位決定リーグ個人得点5
傑①松下(日)12②フォレスト(ア)

10③グサニ(チ)7④蔵田、河田(と
ともに日本)5

7~9位決定リーグ

ポーランド 14 (9-15) 11 ノルウェー
 ド 5 (1-6) 11 ノルウェー

ポーランド 16 (9-15) 9 デンマーク
 ド 7 (1-4) 9 デンマーク

ノルウェー 12 (8-4) 10 デンマーク
 1 (4-1-6) 10 デンマーク

【順位】⑦ポーランド2勝⑧ノルウェー1勝1敗⑨デンマーク2敗
 ○……3国とも目標を失ったあとだけに、もう一つ盛りあがらず前回5位のポーランドが順当に北歐勢を制した。

ノルウェー×デンマークは、ノルウェーにとって、史上初めてデンマークの上位へ進出をはたせる絶好機とあって、もつれた経過になり、ノルウェーの気力が勝負を決めた。

デンマークには、一九六二年の第2回大会から出場しているアンネマリー・ニールセン(34才、188cm、62K)が、いぜん元気な姿を

身長	5傑	身
188cm	ノルウェー	エ
187	(ノルウェー)	ウ
183	(デンマーク)	エ
183	(デンマーク)	エ
183	(デンマーク)	エ
183	(デンマーク)	エ
153cm	古マルム	古
153	マルム	マ
154	マルム	マ
156	マルム	マ
159	マルム	マ
159	マルム	マ

見せ、ポーランド戦では3点をマーク、スタンドの拍手をあびた。ちなみに、今大会30代の選手は12名だった。

松下が◇「5位以下国」個人受賞 得点5傑 ①松下(日)

23②フロレスト(アメリカ)20③蔵田(日)・パソビッツ(ポーランド)

15⑤アニスダール(ノルウェー)13 (注)全参加国の個人得点(ベストテンは次頁に掲載)

全日本女子、勝率さげる

今回の遠征を終って全日本女子の公式国際試合は46試合となり、通算成績が19勝1分26敗(勝率42%)とかわった。

ちなみに、全日本男子(7人制)は、74戦25勝4分45敗(勝率34%)である。

古佐原 日本協会は、今回の遠征90点台 征で行った公式国際試合7戦(世界選手権5、東ドイツ2)終了時の、現役ナショナル選手(F P 15名)個人通算得点を次のようにまとめた。

- 古佐原91、島田59、蔵田52、松下35、額賀25、菊地20、山下16、加藤、河田、紀野いづれも13、穂積7、有賀、大場、小森、桜庭いづれも0

なお、48年11月デビュー以来公式国際試合に連続得点をマークしていた蔵田は、11月23日の東ドイツ戦(17頁)で無得点、17試合で途切れた。

欠ける「ゲームスタミナ」

□……善戦及ばず日本は、またしても上位リーグへ進出を遂げることができなかった。

思い切りのよい新旧交代と、アジア予選(50年2月)をはさんでの周到な強化合宿。臨戦体制は充分であつたわけだが、出発前から予想されたように、ヨーロッパ勢にとっては、この大会がモントリオール行き最後のチャンスとあって、すさまじいばかりの斗志でキエフ入り、その気迫にヨーロッパ初遠征9名をかかえる日本はやはり呑まれてしまった。

□……世界選手権などの組み合わせ(予選リーグ)は、前回の実績をもとにして作成されるから、なかなか最初の関門を突破することが難しい。

少しも進歩していないように見えるのはそのため、次回(一九七八、チエコII予定)も、今回のベストシックスのうち2カ国と必ず同組になるわけだから、ある意味では辛抱強く耐えて待たなければならぬ。優勝の東ドイツなど第3回までは、地域予選さえ通過できなかったのである。

□……耐えている間に課題を克服できるか、どうかがかぎだ。古佐原(東京重機)、島田(立石電機)が、史上初の3回連続出場を果たしたのをはじめ、初出場者のなか

にも、松下(田村紡)のように、持ち味をフルに発揮するなど、最近の若い世代の特色がよい面へ活かされて、キャリア(外国遠征という広い意味での)について、いちじほど日本チームの泣きどころではなくなってきた。

□……むしろ、ますます大型化する外国チームとの連戦に耐え得る「ゲームスタミナ」が、深刻なテーマになってきた。

体格差は論じつくされているが大型選手に敏しよう性が加わり、パワーと巧さが加ってきたことは新たな驚異であり、脅威である。男子選手でさえ「東欧勢との試合は、国内で2試合休みなしに戦うのと同じほど疲れる」という。

□……「ゴールエリア周辺の攻防はまさに「押し相撲」といわれ、スタミナを消耗させる。

それが、攻撃面に響き、「日本はかつてのスピード、鋭さがなくなった」という指摘に結びつく。暴言かもしれないが、男女ともナショナルプレイヤーの選考は、今の技術第一主義をやめにして、精神的、体力的たくましさを最優先しなければ、当分、景気の良い戦果を告げることが、できないのではあるまいか。

(S)

日本ハンドボール協会編

昭和50年度版競技規則 残部少数

頒価1冊500円 (ほかに送料1冊70円)

★日本ハンドボール協会機関誌 年間11回 2500円

★日本ハンドボール協会編「テキストブック」頒価1冊300円 (他に送料70円)

【お申し込みは東京都渋谷区神南1-1-1・日本ハンドボール協会へ】

東ドイツ、無敗で乗り切る

6強激斗の決勝リーグへ

ユーゴ(前回優勝)、五輪出場権失う

▽第1日(12月7日)
ユーゴ 13(7-4) 13 チエコ 6(1-9)

引き分け

〔得点者〕【ユ】ルキッチ4、スプリノビッチ、イレース、トルテイ、ルーター各2、アンティック1、【チ】ホルチノバ5、クッコバ4、ボレドビコーバ2、バスソバ、バルタコーバ各1。
○……ユーゴは立ちあがり3本のPTを活かして5-1とリードを奪い、その後も先行をつづけた。誰の目にもユーゴ有利だったが後半10分を過ぎる頃からディフェンスの動きが鈍り、ホルテイノバを中心に拾身で射ちこんでくるチエコの攻撃をささえきれず、あつという間に同点に追いつかれたばかりか、23分にはクッコバ(170cm、55K)のPTで13-12と逆転された。

必死のユーゴは24分トルテイ(165cm、57K)のゴールで、どうか引き分けたものの、連覇を狙うには、あまりにも拙い試合運びだった。
ソ 連 17(13-8) 16 アルマニ

〔得点者〕【ソ】マカレス5、ツルスターナ、ポブルス、グルスチエンコ各3、リトスチエンコ2、サカロフ1
【ル】ミクロス10、ゾース3、フルコイ2、オアシア1
○……ミクロス(180cm、80K)にボールを集めて攻めこむルーミアアに対して、ソ連は巧い組織攻撃で主導権を握り、後半10分15-10とリードした。

しかし、ルーミアアの粘りは驚異的で、じわじわと追いあげ、残り3分で16-17、場内を騒然とさせた。ソ連は、ここで守りを固め辛くも逃げ切った。
東ドイツ 10(6-3) 9 ハンガリ

〔得点者〕【東】マッツ、クレツシユマル各3、ゲールホフ、ロストカント、ランゲ各1
【ソ】ステルビンスキー5、I・ナギイ、アンギヤル、M・ナギイ、レルケス各1
○……ハンガリーの先行を東ドイツが追う展開。
ハンガリーは、エース・ステルビンスキー(172cm、62K)の巧技でチャンスを得点に結びつけ、東

ドイツの焦りを誘った。

東ドイツは前半22分ようやく6-6に追いついたが、ハンガリーは後半2分、PTで優位を保ち、白熱した。

しかし、地力のある東ドイツは4分同点のあと一気にたたみかけ13分には10-7と主導権を奪ったハンガリーも捨てず、残り10分から激しく反撃、1点差まで詰めしたが、東ドイツに巧くかわされたハンガリーは6-6、7-7の場面でPT2本をはずしたのが痛かった。

ユーゴ、1点差に泣く

▽第2日(12月9日)
ハンガリ 11(9-4) 10 アルマニ

得点者	【ハンガリ】	【アルマニ】
174	182	180
175	172	171
168	168	166
180	172	163
172	172	170
168	166	163
171	172	163
168	166	163
172	172	163
166	166	163
172	172	163
163	163	163
170	170	170

照。

○……ルーミアニアはノータイムで得た同点PTをゾース(170cm、70K)がゴールポストにぶつけて失敗、手痛い1敗を喫した。

試合は終始主導権が入れ替る激戦となり、序盤ルーミアニアが3-0とリードすれば、前半なかばからはハンガリーの速攻が冴えて一気に逆転。
後半は、当りの強いディフェンスを応じしゅうさせ、特にハンガリーは追加点をあげられず苦しんだルーミアニアは7-10から追いあげ23分ゾースのシュートで10-11そして興奮の極に達したなかでのPTだったが、ハンガリーに勝運があった。

ソ 連 16(12-2) 8 チエコ
〔得点者〕【ソ】リトスチエンコ6
ツルスチーナ5、マカレス、デュビナ各2、サカロフ1、
【チ】ホルチノバ、バスソバ各3、ボレドビコーバ、クッコバ各1
○……熱戦つづきの決勝リーグで初めて大味(おおあじ)な試合。
ソ連はリトスチエンコ(162cm、58K)の大活躍で前半20分9-0と一方的。後半1分には11点差(13-2)がついた。
チエコは、終盤どうにか攻撃がまとまったが焼石に水。

得点者	【ハンガリ】	【アルマニ】
174	182	180
175	172	171
168	168	166
180	172	163
172	172	163
168	166	163
171	172	163
168	166	163
172	172	163
166	166	163
172	172	163
163	163	163
170	170	170

個人得点	(ベスト)	選手名	所属
35	連	連	本
32	連	連	本
23	連	連	本
23	連	連	本
23	連	連	本
23	連	連	本
22	連	連	本
21	連	連	本
15	連	連	本
11	連	連	本
10	連	連	本

東ドイツ	13(7-6) 12	ユーゴ
得点者	【東】	【ユーゴ】
172	159	168
173	168	176
173	174	165
173	176	180
173	181	171
173	173	173
173	173	173
173	173	173
173	173	173
173	173	173
173	173	173
173	173	173
173	173	173

ソ 連	16(12-2) 8	チエコ
得点者	【ソ】	【チエコ】
174	182	180
175	172	171
168	168	166
180	172	163
172	172	163
168	166	163
171	172	163
168	166	163
172	172	163
166	166	163
172	172	163
163	163	163
170	170	170

なり七千のファンを熱狂させた。

ユーゴの出足はよく8分31秒としたのだが、東ドイツも18分PTで5-5としてからは巧みにペーシングを握り、それ以後いどもユーゴに先手をとらせなかった。

特に前半終了間際から後半7分まで巧者・ティエツ(168cm、69K)の活躍で9-6と主導権を握ったのは大きかった。

ユーゴも、この1戦を落とすとモントリオール行が危くなるとあって懸命に攻めるのだが、8、17、21分と4回1点差まで詰めながら、あと一歩がなく、残り1分イレース(176cm、67K)で12-13としたまでで力つきた。

ソ連、好調に勝ち進む

▽第3日(12月11日)

順位決定戦勝敗表

①東ソ	ドイ	ツ連	ハル	ユ	チ	得	失
②ハン	ソ	連	○	○	○	60	49
③ハン	ガ	リ	○	○	○	70	58
④ハル	マ	ニ	○	○	○	52	46
⑤ユ	ー	ゴ	○	○	○	65	55
⑥チ	エ	ゴ	○	○	○	43	63
						31	78

【7~9位決定リーグ】

⑦ポー	ラ	ン	ド	得	失
⑧ノル	ウ	エ	ク	4	20
⑨デン	マ	ウ	エ	3	14
				0	28

【10~12位決定リーグ】

⑩日	本	カ	得	失
⑪ア	メ	リ	4	20
⑫チ	ユ	ニ	2	30
			0	40

(注) 決勝リーグの()内勝敗は予選リーグの記録

ハンガリー 12(6-1-1)5 チェコ 6(4-4)5

【得点者】「ハ」クシク5、ステルビンスキー4、I・ナギイ2、レルケス1、

【チ】ホルチノーバ、クッココーバ各2、バスソーパー1

○……チェコは完全に調子を崩してしまった。

ハンガリーの手固い守りをゆきぶり切れず、前半の1点は23分のPTという低調。

ハンガリーは後半15分10-3とはなして主力を休ませる余裕ぶりだった。

東ドイツ 10(5-1-4)7 ルーマニア 5(3-1-1)7

【得点者】「東」ゲールホフ、マツツ、カレント、ティエツ各2、リヒテル、クレッシェマル各1

【ル】ミクロス3、ゾース2、フルコオイ、ピツ

チゴオイ各1

○……いったんペースをつかんだ時の東ドイツの強さは抜群だ。

5-4)。

後半開始と同時に一気のスパートをみせ、リヒテル

(169cm、67K)とカレント

(166cm、68K)の連続得点で7分8-4とあげた

ルーマニアもけて不調ではなかったが、動きのある相手守備陣にまだわされ、前半17分から約20分間無得点に封じこめられた。

後半15分すぎ、相手の反則退場をきっかけに連続3ゴール、7-8と詰め寄ったが、東ドイツもそのあとマツツ、ティエツの好技で加点、優勝へ大きく前進した。

ソ連 17(10-7-0)12 ユーゴ 10(4-0-1)0

【ユイテスプイアアトルベルグ】

【ソ連】

【チゴオイ】

【ル】

○……五輪出場へアトのないユーゴは気負ってのスタートだったがその斗志が裏目。いきなりトルテイが警告をくい、そのあとPTを3本とられた。

ソ連はこのうち1本を落としたが、ポブルースの好技もあり、10分4-0と優位。

ユーゴも20分過ぎから反撃をやらせ24分6-5、残り1分間、互いに1点ずつを入れあって勝負を後半へ持ちこんだ。

後半も一進一退がつづき、ユーゴは16分スプリノビッチ(168cm、68K)で待望のタイスコア(12-12)。

しかし、こうした場面のもと今回のユーゴはもう一つハリがない

あっさりマカレス(176cm、74K)に守備網を切り崩されて連続3ゴールを許し、20分15-12。連覇どころか、モントリオール行きさえ苦しいピンチに立たされた。

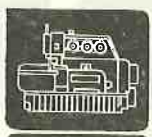



ソ連、東 決勝リーグ3戦と

独自の争い 予選リーグからの持ちこみを加えて、各国は4試合を終了。星勘定は、東ドイツ、ソ連

がともに3勝1分でトップに立ちハンガリーが2勝2敗、ユーゴが1勝1分2敗、ルーマニアが1勝3敗、チェコが1分3敗となり、まず東ドイツ、ソ連のオリンピック出場が確定、チェコが断念せざるを得なくなった。

マシンから… エレクトロニクスまで

工業用マシン・家庭用マシン・電子機器
編機・家庭電気製品・縫製附帯機器

シガー

シガー工業株式会社

営業本部 東京都新宿区歌舞伎町23
電話03(203)8241(大代表)

きあい。

一方、優勝争いはソ連がこの日まで得失点差14で、同5の東ドイツをリード、地元フランスの期待は大きくふくらまされた。

ハンガリー、ソ連の夢砕く

▽第4日(11最終日、12月13日)ハンガリー 12(7-5)10 ソ連 10(5-5)10

得000512200000
連クワコナスコスコナワクナ
イウーニレンエンーユ
スロチチルチビロチニ
クプトスカスブスユカン
【ソポイツマリボグシサバ

【サイクイーキスリルスイ
リドニギンケエヤギシ
ガゼシピルジンナバ
ンイルナルルジンナバ
【ハベクIストラメアバM
得001144100100

○……ソ連はこの試合に勝てば、東ドイツがチエコ戦で11点差以上つけない限り優勝、という大切な一戦だったが、さすがに固くなつたか、開始1分ポブルス(169cm、63K)の得点で先行した以外は、ついに一度もリードを奪えず敗れ大魚を逸するハメとなった。

志も素晴しく9分レルケス(175cm、69K)、10分ラキ(180cm、77K)、11分ステルピンスキーとたたみかけた。

この突き放しには、さしものソ連もダメージを受け、20分8-12と開いたあと2点を返したが及ばなかった。

立ちあがりの拙戦が「優勝」を逃すことになった。

ハンガリーは、全員が平均した力をもち、守りの要・GKブイドサ(174cm、72K)の堅守も光った。

東ドイツ、後半一気に勝負

東ドイツ 17(10-7)11 チエコ (得点者)【東】クレッシュュマル6 リヒテル5、テイエツ4、カーン2、

【チ】クツコーバ4、マテイソバ3 ポラシコーバ2、ホルチノーババ スローバ各1

○……優勝の望みが生まれた東ドイツだったが、ソ連同よう前半は固さがほぐれず、16分6-3の優位を保てず25分7-7とされた。

しかし、後半立ちあがりの二本のPTを30才のベテラン・リヒテルに射たせ重苦しいムードを払いのけようとしたベンチの策が当たってリード、すっかり落ち着いた

こうなると両者の勢いが違う。チエコは、ほとんど相手ディフェンスを攻め崩せず12分間無得点

17分15-8と大勢が決まった。

ルーマニ 12(6-6)11 ユーゴア 6(6-5)11

【得点者】【ル】フルコオイ4、コヨカル、ミクロス、ボツシ、ホビ

【ユ】ルキツチ3、イレース、ルーター各2、ブクロフ、スプリービ

○……10度目の同点、11-11。残り時間は30秒あるかないかの土たん

場でユーゴはアブラモビッチが反則退場、色めきたつルーマニア

は一気のなだれこみから、ボツシ(173cm、67K)が劇的な決勝点をあげた。

それにしても壮烈な試合。まさかこの両者で、モントリオールへの最後のパスポートを争うとは思

わなかった。最終異様なムードがみなぎり、どの選手の表情も引きつって見える。

一進一退、2点差がついたのは前半16分ユーゴが5-3とした1

回だけ。同点場面の通算時間は、なんと24分間もあったのである。

球史に残る激斗のつづいた決勝リーグのなかでも、特筆されるべき一戦であった。

【注】「決勝リーグ」の後記は「レキップ」(フランス)、「週刊ハンドボール」(西ドイツ)、「アサヒイブニングニューズ」、「ジャパントアムス」の各記事を、本誌編集委でまとめたものです。

ソ連から3選手 ベストセブン

キエフに集ったスポーツライターのよる今大会のベストセブンは次のとおりである。▽GKブイドサ(ハンガリー)▽FPクレッシュュマル(東ドイツ)、ツルスチーナ、ポブルス、リトスチェンニコ(いずれもソ連)、クシク(ハンガリー)、イレース(ユーゴ)。

東ドイツらに五輪出場権

IHF(国際ハンドボール連盟)は、大会終了後、東ドイツ、ソ連、ハンガリー、ルーマニアに、モントリオールオリンピック出場権が与えられたことを表明した。

オリンピックは6カ国で行われ、開催国・カナダとあわせて、これで5カ国の顔ぶれが揃ったことになる。

残る1カ国は、アジア(日本)、アフリカ、アメリカ大陸代表によって争う「3大陸代表」である。

大同製鋼



取締役社長 武田喜三

本社：名古屋市中区錦一丁目11-18(興銀ビル)
TEL名古屋(052)201-5111(大代表)千460
支社：東京 支店：大阪

◇数字でみる第6回世界女子選手権◇

選手	得点	シュート率(%)	攻撃回数	攻撃ミス	得たP T	P T得点	得るF T	得点F T	ボール間保持時間56秒	保時72分
⑩日	82	38.6	243	61	22	18	127	2	119-30	72-56
①東	113	55.9	268	61	22	35	161	0	113-35	
②ソ	111	44.4	253	57	45	19	152	0	89-15	
③ハ	97	43.4	261	74	29	16	206	0	125-11	
④ル	102	44.7	267	83	23	18	150	0	109-24	
⑤ユ	116	49.7	262	64	22	29	160	0	114-11	
⑥チ	234	36.3	267	94	32	11	130	2	81-45	
⑦ポ	164	37.8	210	73	16	8	132	0	101-28	
⑧ノ	164	37.1	208	61	12	9	107	0	83-13	
⑨デ	165	37.5	213	74	37	14	109	0	109-41	
⑩ア	125	34.4	252	129	20	8	74	1	104-06	
本	40	34.2	273	128	11					
ツ										
連										
一										
ア										
ゴ										
コ										
ド										
エ										
ラ										
ウ										
マ										
メ										
リ										
ニ										
ジ										

(注) F Tはフリースローの意

ミュンヘン・オリンピック(一九七二)を機に、I H F (国際ハンドボール連盟)はそれまでの特別記録をいっそう詳しく、細かいものにしていくが、今回も報道関係者、大会関係者に、連日そのサーピスが行われた。

「国別攻撃分析」をみてみると、今回の順位がみごとに投影されている。

特に、東ドイツのシュート率が56%弱というのは抜群である。

一般的に東欧勢の強さは、統制のとれた組織力にあるといわれ、個人技は、その上立って発揮するのを身上としている。

スピードいながら突破口、シュートコースが築かれそこからアタッカーが射ちこんでくるというパターン、確実なポストへのパスプレーといった「確実さ」が、上位国のシュート率に示されている

攻撃回数とシュート数の関連も面白い。

1回の攻撃で、2本も3本も射つケースがあるので、単純な割り算はできないが、両者の数値は、上位国ほど差がない。

例えばチュニジアなど273回

の攻撃で165本のシュートしか射てないとすると、相手のゴール前へ攻めこむまでに、担当の失敗があったとみなければならぬ。

東ドイツ、確実な力

シュート失敗の内容についてもかなり細かい分析が示されている。日本は、131本(失敗率61・4%)のシュートミスをおかしているが相手G Kにストップされたシュートが65本(約49%)もある。

内容	回数	割合
その他	25	14.2%
一外	20	11.7%
ゴール	16	9.3%
ポスト	21	12.3%
ストップ	17	9.9%
相手G K	20	11.7%
相手G K	32	18.7%
相手G K	31	17.7%
相手G K	22	12.8%
相手G K	25	14.6%
相手G K	28	16.2%
相手G K	18	10.5%
相手G K	23	13.5%
相手G K	6	3.5%
相手G K	5	2.9%
相手G K	5	2.9%
相手G K	75	43.3%

パワーの不足を感じないわけにはいかない。

上表のうち、攻撃ミスというのは、シュートに持ちこたないもの、自チームのミスプレー(オーバーステップ、ラインクロスなどの反則も含む)を示すが、最少のソ連でも1試合平均8回を数えており

女子の試合内容がもう一つ男子に比べて見劣りがある、という評判は、このあたりに原因があるかも

知れない。

日本、速いプレー示す

ボール保持時間というのは、I H Fが各大会でもっとも力を入れて調べているデータだ。

日本が最少にとどまっているのは、マイ・ボールになってから、シュートチャンスをつかむまでの仕掛けが早いのか、ミスプレーが早い段階で出てしまいか、どちらかだ。

仕掛けの早さは、それなりに長所もあるが、相手のディフェンスを崩し切れぬ前に射っている、というのではないのだろうか。

選手	得点	攻撃回数	速攻回数
本	36	82	20
東	20	65	23
ソ	15	44	15
ハ	3	28	3
ル	14	48	14
ユ	4	42	4
チ	4	10	4
ポ	4	19	4
ノ			
デ			
メ			
リ			
ニ			
ジ			

問題はその成功率。この資料からみると43%弱で、速攻を日本のお家芸とするならば、せめて50~60%が欲しい。

そうならば、日本の全般的な順位も引き上がることになる。PTでは、チエコが3本落としただけというのが光る。

クツコーバ(170cm、55K)、バスソーバー(164cm、58K)の二人が26本決めていた。ちなみに、PT得点1位は18点をあげたツルシチーナ(ソ連、178cm、75K)。

国別ではソ連が圧倒的。国際試合は、公式戦でも地元有利の判定がみられる、という風評を感じるのだが、偏見にすぎないだろうか。

なお、データは、12カ国すべて発表されているが、本誌は、上位国と、モントリオール予選で対戦を予定されるアメリカ、チュニジアの両国を中心とした。

松下、個人得点で健斗

個人得点は、本誌12頁所報のとおりT・マカレス(ソ連)が35点をマーク、ベストスコアラーとなった。絶讃を浴びたのは日本の松下仁美(田村紡)。

ベストテンの中で、試合数5は松下一人で、他の9人はいずれも7試合の通算。松下は、「5試合組」のベストスコアラーとして表彰された。

反則退場と警告の少なさを競うフェアプレー賞は、ソ連がマイナス19(退場通算時間8分、警告11回)で受け、以下ルーマニア、東ドイツ、ハンガリー、ユーゴ、チエコの順。

「5試合組」では、日本がマイナス11(退場8分12分4回、警告3回)でトップだった。

HONDAは無公害時代のパイオニア!!



《世界のホンダ》を支えるホンダイズムとは
フェアプレイを土台にした“先駆者の精神”
です。先人の追従でなく、あくまでも自らの手で
よりよい製品をより早く世に出すこと……それは
究極的にはスポーツ精神と同じ“自分との闘い”です。



本田技研工業(株)鈴鹿製作所
三重県鈴鹿市平田町1907 ☎<0593>78-1212 513

厚く、深い底刻み、 フット・ワーク優先の 合理シューズ



- 力のロス、横スベリを解消した合理設計で定評高い斜線模様の特種モールド底。(パテント出願中)
- 厚く、彫りの深い底、中底はユニークな弾性を誇る二重スポンジ・クッション。
- 表布と裏布を離した袋状アッパーで、快適な足扱い、軽快な履き心地。
- ブルー、金茶のカラー・フルなデザイン。
- 要部に革補強。



ハンドベアー

デラックス(HX) ●サイズ=22.5~29 ●ブルー・金茶 ●¥2,800

特許 **ベアー株式会社** 東京

●全国有名スポーツ用品店、百貨店で求め下さい。

第2回東ドイツ交流

全日本女子が遠征

第2回日本—東ドイツ交流は、世界女子選手権へ向かう全日本女子チーム(渡辺慶寿団長ら役員3、選手14)が遠征して、11月16日から29日まで東ドイツ各地で、7試合を行ない、日本の3勝4敗に終わった。

第3回交流は、東ドイツ側が来日して今春5月または、今秋9月、日本で開かれる予定。

一昨年の第1回交流は、東ドイツ男子ナショナルが来日して、日本の6戦6敗だった。

後半の追いあげ成らず

第1戦(遠征第1戦)・マグデブルグスポーツクラブとの試合は11月16日、マグデブルグで行われた。

SC・マ(1010)16日 本
グデブル 20(1010)15日 本

◇その他の出場者【マ】FPミューラー・176cm得0【日】GK渡辺、FP紀野IIとも得0

惜しくもせり負ける

第2戦・ライプチヒスポーツクラブとの試合は11月18日、ライプ

身長)得0 06022402202	162cm 06022402202	169 06022402202	173 06022402202	176 06022402202	169 06022402202	166 06022402202	166 06022402202	166 06022402202	178 06022402202	178 06022402202	170 06022402202
【ハ】オゲドアカシ	【マ】バゲドアカシ	【ハ】オゲドアカシ	【マ】バゲドアカシ	【ハ】オゲドアカシ	【マ】バゲドアカシ	【ハ】オゲドアカシ	【マ】バゲドアカシ	【ハ】オゲドアカシ	【マ】バゲドアカシ	【ハ】オゲドアカシ	【マ】バゲドアカシ
19(4) PT	(4)	19 本	16(6) PT	(3)	20						

ハーレから1勝あげる

第3戦・ハローレン・ハーレとの試合は11月20日ハーレ市で行われた。

日 本 15(87)10 13	174 0010422014100	176 0010422014100	172 0010422014100	173 0010422014100	172 0010422014100	170 0010422014100	168 0010422014100	168 0010422014100	178 0010422014100
【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ	【ハ】カブシガワベフ
15(2) PT	(4)	13							

若手で臨み敗れる

第4戦は、東ドイツナショナルチームとの公式国際試合として11月22日午後6時からベルリン・スポーツフォーラムで行われた。

主力温存、大敗喫す

第5戦は、東ドイツナショナルチームとの公式国際試合第2戦として11月23日午前11時30分からベルリン・スポーツフォーラムで行われた。

得002010514861	173 002010514861	172 002010514861	176 002010514861	175 002010514861	166 002010514861	166 002010514861	169 002010514861	163 002010514861	168 002010514861	166 002010514861
【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク	【東】ゾルゲマク
13(0) PT	(0)	28								

最終戦にも快勝

第7戦(東ドイツ最終戦)は、エムポール・ロストックSCとの試合は11月27日ロストック市で行われた。

日 本 26(1412)117 18	得001050523011	001050523011	001050523011	001050523011	001050523011	001050523011	001050523011	001050523011	001050523011
【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ	【東】ボルヘミ
19(5) PT	(3)	13							

第6戦、TSC・ベルリンとの試合は、11月25日ベルリンで行われた。

◇その他の出場者【ロ】FPリビスII得0、【日】GK久保、FP加藤IIとも得0、

【お知らせ】本誌では、次号にも今回のヨーロッパ遠征に関する記事の特集の予定です。

アメリカ3度目の出場目指す

たけなわのオリンピック予選

西ドイツ「東」に3点差の勝利

オリンピックイヤーの開幕を告げるモントリオール・オリンピックアメリカ地域予選アメリカ×アルゼンチン戦(2試合)は、1月23日ヴェノスアイレスで第1戦、27日パッファローで第2戦が行われる。

も粘り後半15分12-11と逆転した熱狂的な声援をうける西ドイツはそのあと新しきエース、デッカー(1m98)の活躍で得点を重ねて主導権を奪い返し、先勝した。

第2戦は3月6日、東ベルリンで行われるが、東ドイツがどう巻き返すか、早くも騒然たる話題に包まれている。

このほか、スウェーデンがストックホルムでのホームゲームを手固く進めてチェコを降した。

また、ユーゴ、ソ連は乗りこみの不利にもかかわらず、アイスランド、フランスをそれぞれ制し、この両国のモントリオール行きは確定的となった。

ポーランドもノルウェーにてこずりながら遠征試合を勝ちとり、今後を楽にした。

伯仲を伝えられるスペイン×デンマークは引き分け、デンマークが有利な戦局である。

惑星視されていたブルガリアはスイス、ハンガリーに連敗、思わぬ低調である。

スイス、ブルガリアを破る

第2節 (11月24日) 30日・各地

▽第1群

アイスランド 29 (1613) 37 (10) 10 (ブルクセン) 2敗

▽第2群

スウェーデン 28 (1513) 77 (14) 14 (イタリヤ) 2敗

▽第3群

スイス 17 (8) 9 (6) 14 (ブルガリア) 1敗

▽第4群

フランス 23 (1310) 148 (22) 22 (オーストリア) 2敗

▽第5群

西ドイツ 21 (1011) 2 (2) 10 (ベルギー) 2敗

▽第6群

ノルウェー 55 (2530) 4 (1) 4 (イギリス) 2敗

▽第7群

スペイン 15 (7) 8 (6) 12 (オランダ) 2敗

第3節

スウェーデン、チェコ降す (12月15日) 21日・各地

▽第1群

ユーゴ 24 (1212) 108 (18) 18 (アイスランド) 1勝

▽第2群

スウェーデン 14 (6) 8 (4) 12 (チェコ) 1勝

ハンガリー 19 (9) 10 (7) 13 (ブルガリア) 2敗

▽第4群

ソ連 31 (1615) 124 (16) 16 (フランス) 1勝

▽第5群

西ドイツ 17 (8) 9 (6) 14 (東ドイツ) 1勝

▽第6群

ポロランド 25 (1411) 712 (19) 19 (ノルウェー) 1敗

▽第7群

スペイン 15 (8) 7 (7) 8 (15) 15 (デンマーク) 1勝

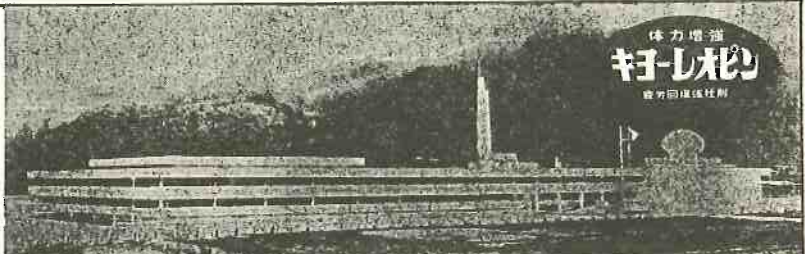
二次リーグ 激闘をつづけるヨーロッパへ進む ロッパ地域予選は、1月いっぱい小休止のあと、いよいよ2月2、8日に第4節、16、22日に第5節と二次リーグへ進む

群(第1群)	群(第2群)	群(第3群)	群(第4群)	群(第5群)	群(第6群)	群(第7群)
1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8
3	4	5	6	7	8	9
4	5	6	7	8	9	10
5	6	7	8	9	10	11
6	7	8	9	10	11	12
7	8	9	10	11	12	13
8	9	10	11	12	13	14
9	10	11	12	13	14	15
10	11	12	13	14	15	16
11	12	13	14	15	16	17
12	13	14	15	16	17	18
13	14	15	16	17	18	19
14	15	16	17	18	19	20
15	16	17	18	19	20	21
16	17	18	19	20	21	22
17	18	19	20	21	22	23
18	19	20	21	22	23	24
19	20	21	22	23	24	25
20	21	22	23	24	25	26
21	22	23	24	25	26	27
22	23	24	25	26	27	28
23	24	25	26	27	28	29
24	25	26	27	28	29	30
25	26	27	28	29	30	31
26	27	28	29	30	31	32
27	28	29	30	31	32	33
28	29	30	31	32	33	34
29	30	31	32	33	34	35
30	31	32	33	34	35	36
31	32	33	34	35	36	37
32	33	34	35	36	37	38
33	34	35	36	37	38	39
34	35	36	37	38	39	40
35	36	37	38	39	40	41
36	37	38	39	40	41	42
37	38	39	40	41	42	43
38	39	40	41	42	43	44
39	40	41	42	43	44	45
40	41	42	43	44	45	46
41	42	43	44	45	46	47
42	43	44	45	46	47	48
43	44	45	46	47	48	49
44	45	46	47	48	49	50
45	46	47	48	49	50	51
46	47	48	49	50	51	52
47	48	49	50	51	52	53
48	49	50	51	52	53	54
49	50	51	52	53	54	55
50	51	52	53	54	55	56
51	52	53	54	55	56	57
52	53	54	55	56	57	58
53	54	55	56	57	58	59
54	55	56	57	58	59	60
55	56	57	58	59	60	61
56	57	58	59	60	61	62
57	58	59	60	61	62	63
58	59	60	61	62	63	64
59	60	61	62	63	64	65
60	61	62	63	64	65	66
61	62	63	64	65	66	67
62	63	64	65	66	67	68
63	64	65	66	67	68	69
64	65	66	67	68	69	70
65	66	67	68	69	70	71
66	67	68	69	70	71	72
67	68	69	70	71	72	73
68	69	70	71	72	73	74
69	70	71	72	73	74	75
70	71	72	73	74	75	76
71	72	73	74	75	76	77
72	73	74	75	76	77	78
73	74	75	76	77	78	79
74	75	76	77	78	79	80
75	76	77	78	79	80	81
76	77	78	79	80	81	82
77	78	79	80	81	82	83
78	79	80	81	82	83	84
79	80	81	82	83	84	85
80	81	82	83	84	85	86
81	82	83	84	85	86	87
82	83	84	85	86	87	88
83	84	85	86	87	88	89
84	85	86	87	88	89	90
85	86	87	88	89	90	91
86	87	88	89	90	91	92
87	88	89	90	91	92	93
88	89	90	91	92	93	94
89	90	91	92	93	94	95
90	91	92	93	94	95	96
91	92	93	94	95	96	97
92	93	94	95	96	97	98
93	94	95	96	97	98	99
94	95	96	97	98	99	100

近代化を誇る
湧永薬品広島工場

湧永薬品株式会社

本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901~5
東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891



支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
工場/広島・和歌山

世界へはばたけ日本のハンドボール

(協賛者御芳名)

◇愛知県実業団ハンドボール連盟加盟会社及び団体◇

アイシン精機株式会社
 新日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所
 自衛隊 春日井
 大同製鋼株式会社
 中部電力株式会社
 トヨタ自動車工業株式会社
 トヨタ車体株式会社
 トヨタカローラ愛知株式会社
 豊田自動織機株式会社

豊田工機株式会社
 豊田合成株式会社
 株式会社 トーメン名古屋支社
 日本碍子株式会社
 パイロットインキ株式会社
 伏原紡織株式会社
 ブラザー工業株式会社
 三菱自動車工業株式会社
 名古屋自動車製作所

(アイウエオ順)

AHF、ついに正式発足

1月18日付各紙が、中国通信の報道として伝えたところによると1月12日から14日までクウェートで開かれたアジアハンドボール連盟結成会議によって「アジアハンドボール連盟」(AHF)が正式発足した。

AHF本部はクウェートに設置され、初代会長にはフアハド・アル・アハマド・アル・ザバハル氏(クウェートオリンピック委員会委員長)を選出、事務局長にはジアド・アブドル・ハッサン氏(パキスタン)が就任した。

また、パレーン代表が第一副会長に、中国代表が第二副会長に選出された、と伝えられている。日本協会も、この会議への招へい状を受けとっていたが(既報)財政的な事情で欠席した。

日本がすでにメンバーになっているのか、など不明確な点が多いため、議事録などの入手にまつている。

◇

AHF結成を聞いて、杉山茂49年9月以来、中国、パキスタン、クウェートらが熱心に結成準備を進めていた経緯からみて、今回の会議招集は、当然、「旗あげ」につながるものであった。これで、難しくなったのはIHF(国際ハンドボール連盟)との

関係だ。

IHFは、アジアを「極東連盟」と「近東連盟」に分けることを提唱し、今夏7月リスボンでのIHF通常総会で承認にこぎつけようと、手を打っている。

49年10月の総会(ジュネローイタリヤ)に、パキスタンからAHF問題が持ちこまれたが、パキスタンが、IHF未加盟国という理由で、議場へ出されなかった。

この時点からIHFとAHF(準備委)の仲は微妙になっておりIHFの「アジア二分案」は、AHF準備委との「対立」でしかないような印象を与えている。今回の会議には、IHF役員も出席していたはずだが、渡辺和美アジア選出理事が、日本協会荒川清美理事長に語ったところでは「AHF結成を思い留まらせるために出席するのだ」ということだった。

もし、それがIHFの「真意」なら、その工作は、失敗に終わったとみなければならぬ。(注・渡辺氏は出席メンバーからもれていない)

ジュネローイ総会以後、IHFはAHF準備委を説得した、とも聞いていたが、私は、そう簡単にケリがつくとは思っていない。クウェートの会議も、一部には

「近東連盟」結成のため、IHF

の指示によって開かれるように受けとられていたが、あくまで「招かれただけ」にすぎなかったのではないかと。

さて、こうなった以上、AHF内に中国、パキスタン、パレーン、パレスチナなどIHF未加盟国が多いからといって、「認知」しないような狭量をIHFは示すべきではないだろう。

面子上にこだわって、今後も「二分案」などを振りかざすと、混乱するばかりだ。

IHFは「極東連盟」の結成について、話し合うため、3月13日ホンコンの「ミラマール・ホテル」で日本、韓国、ホンコン、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)、インド、台湾、それにオーストラリアの各代表による会議を開くよう招集している。

IHF事務総長のM・リンケンパーガー氏(西ドイツ)も出席する予定だが、クウェートでの決議に、どう反応するか注目される。日本としては、AHF結成を支持して、IHFに「二分案」を白紙に戻すよう働きかけるのが、いちばんよいと思う。

そして、AHF内の未加盟国をIHFに仲間入りさせる努力にはげむのが、今や「アジアの過去の盟主」にすぎなくなった日本の唯一の姿勢と考えるのが一。

(NHK運動部)

合織糸・合織混紡糸



田村紡績株式会社

社長 田村正衛

四日市市東茂福町10-17

TEL 0593-65-2156 (代表)

郵便番号 512



新発売!!

ハンドボールLE-S P

- サイズ 22.5~28.0
- カラー 白×赤オニツカライン
赤×白オニツカライン
- ¥6,700

俊敏な動きができる新鋭——

先制『攻撃』用

Onitsuka
Tiger

競技に適した軽くて動きのいい——

タイガー®ハンドボール

競技者を支える総合スポーツ用品メーカー

オニツカ株式会社

神戸・大阪・東京・福岡・名古屋・仙台・札幌

道へのオールトリオント

37年部創立以来、強豪の名を欲しいままにしていた女子界の名門・田村紡績(三重)が、会社側の経営事情によって、昨年度の全日本総合選手権を最後に、姿を消した。(本誌20頁参照)。

こうしたケースは、ハンドボールに限らず、各競技でも前例があるが、今回の場合、田村紡績のオーナー・田村正衛氏が、日本協会会長という要職に就いていられるだけに、内外の注目は、特に強いものがあつた。

田村氏は、オーナーの立場で『不況のため、断腸の思いながら部活動をやめることとした』と語り、そのあとで、オーナーとも会長とも、どちらともとれる立ち場から『日本のハンドボール(女子)が、国際的に飛躍するには、中企業、小企業がチームをかかえていてはダメだ大企業による強豪チームが、トップ層を占めなければならぬ』『オリンピックや世界選手権でメダルをとるには、アマチュアとして許される限界の「環境」が与えられなければならない』などを発言。「不況」以外にもチーム解散の遠因が氏の胸中にあることをにおわせた。

オリンピック、世界選手権で最上位を目指すのは競技団体の一つの使命であろう。

しかし、それは口でいうほど簡単ではなく、とりわけチームゲームでは、全体主義国家の国威をかけての姿勢に対抗する手段を見つけて出すのは、容易なことではない。

田村氏は、44年会長就任以来「アマチュアリズム」を強く打ち出し、企業チームの選手が仕事なかに職場をはなれ練習などを行うことを好まず、学生チームも学業優先が建前だ、との意見を口にしていた。

それからすれば、あまりにも極端な「変身」だが、氏自身、それは「認めて」いる。

『欧州遠征などムリしてやるものではない、与えられた範囲で行動するのがアマチュア競技団体と考えていたが、躍進のためには、手ぬるいことを悟った。』

ナショナル、単独を問わず可能性のあるチームは、積極的に行動すべきだし、企業は、選手(部員)にハンドボールに没頭できる環境と待遇を与えて欲しい」という。

情熱家、名会長といわれている田村氏の、この発想の転換は、単に頂点強化路線にとどまらず、日本協会の前途へ極めて大きな一石を投じることになる。議論を呼びそうだ。(杉山)

芽のハンドボール市民

49年度49、50年度46。なんの数字もお判りだろうか。日本協会一般女子A登録チーム数である。

他の部門が軒なみ増の傾向のなかで、一般女子のこの現状は、どういたものなのか、と探っているうちに、一つの微妙な「作用」に気がついた。

国体成年女子から学生を締め出したことが影響したのだ。49年度まで、一般女子には一チーム3名まで学生が加わるのが認められていた。

それが、今年度から男子同よう参加できなくなり、いくつものチームが店じまいし、登録しているチーム(クラブ)でも、実際に活動ができぬところが多い。

この問題は、本誌139号の「東北国体評」で森恭一氏が、改善を要望されており、その後、筆者の近くにも中国地区のクラブ関係者から切実な訴えが届いている。

たしかに、現在の実業団を除く成年女子(OG)層の現状を分析すると、国体から女子学生をはずしたの、思い切りがよすぎたと思う。

「学生をはずすことによって、社会人に道が開ける」という意見が大勢を占めたわけだが、現実無視による机上の意見でしかなかった女子高校生の大学進学率に目をやればすぐに判ったことなのだ。日本協会首脳の間には「朝令暮改」を恐れるムードがあるようだが、拙い、と気がついたら青森国体(昭52)からでも改めたほうがよい。

まして、問題は、市民ハンドボールの芽をつみとることに「なりかねない」内容だ。

それにしても、底辺の動きというものを明確に掴むのは、なんと難しいことだろう。

まだまだ、活動の底のほうで沈み、淀んでいる問題のなかに中央の手で、すくいあげなければならぬものがあるのではなからうか。

当欄で再三説いているように日本協会が、市民ハンドボールを一つの型にはめこんでいく必要はまったくない。

市民ハンドボールは市民のものだからだ。

しかし、市民ハンドボールのかかえる課題は、日本ハンドボール界あげて考え、前進を打ち出す姿勢が欲しい。

今回の問題は「3チーム」「3人」だけで終る話ではないのである。(Z)

スポーツは生きる喜び

勝利を呼ぶ
3本線

日本総発売元/株式会社デザイン



adidas
アディダス
トレーニングスーツ
Made under Adidas license

世界へはばたけ日本のハンドボール

(協賛者御芳名・順不同)

<p>株式会社 東口電機製作所 社長 東口武雄 奈良市二名町2603 TEL 0742-44-6161</p>	<p>中川石油株式会社 〒020 盛岡市菜園1丁目7番17号 電話 (0196) 23-(代)3241</p>
<p>医薬品並に健康関連総合商社 (株) 小田島 本社 花巻市上町6-5 〒025 TEL01982-3-5162(代) 営業所 花巻, 盛岡, 水沢, 一関, 大船渡, 釜石, 宮古, 久慈, 青森, 八戸, 弘前, むつ, 仙台, 石巻, 古川, 気仙沼, 秋田, 大館, 横手</p>	<p>うつくしく うつくしく よりうつくしく Wacoal ワコール</p>
<p>コロナとマークIIの 岩手トヨペット 本社 盛岡市上田2丁目 TEL(51)3211 (代)</p>	<p>株式会社 久保田鉄工 代表者 久保田 広一 八尾市南本町四丁目九番一九号 TEL0729-23-0292</p>
<p>上田茂行</p>	<p>東海溶材株式会社 本社 清水市北脇242 支店 浜松市下石田町1743の1 営業所 小山, 東京, 相模原, 三島, 富士, 三保, 焼津, 大井川, 掛川, 豊田, 名古屋, 四日市, 大阪, 富山, 広島</p>
<p>株式会社 横山商店 横山 豊 (第3回インターハイ準優勝清水商高主将) 清水市渋川468 TEL0543-45-3482</p>	<p>アサヒスポーツ 福井市松本3丁目4-2 TEL 0776-23-2555</p>
<p>広島県ハンドボール協会会長 川上病院 広島市曙町2-33 TEL0822-61-3782</p>	<p>富士重工指定スパルサーサービス工場 (有) 野田商会 野田 勉 (第9回インターハイ優勝清水商高選手) 清水市万世町1丁目69 TEL0542-52-6750(代)</p>
<p>学生衣料製造卸 株式会社 島屋 高岡市問屋町41</p>	<p>北陸電力株式会社 福井支店 福井市日之出1丁目4番1号 〒910 電話 (0776) 2121番 (代表)</p>
<p>屋内外電気工事設計施工 火災報知機設備施工 伊藤電機設備株式会社 代表取締役 伊藤仁和 福井市順化2丁目2番1号 〒910 TEL 営業部(0776)22-7800(代) 工事部21-2266(代)</p>	<p>ヨーロッパの味 タキザワハム 取締役社長 滝沢 武</p>
<p>ブリヂストンタイヤ(株)彦根工場 〒522-02 滋賀県彦根市高宮町211番地 TEL (07492) 2-8111 代表</p>	<p>不動産の カントラ 大阪・堺 0722-33-0003 TEL 0722-22-2103 ブドウサン</p>

成年男子(一般)24、少年女子14 佐賀国体の新配分数字決まる

日本協会は、昨年12月13日の月例常務理事会(東京)で、今秋開かれる佐賀国体ハンドボール競技(10月24、29日・神埼町)の種別配分数字を「成年男子一般24、同教員10、成年女子10、少年男子10、同女子14」と決めた。

佐賀国体は、開催地側の事情で総参加人員が、当初の予定より約二千二百人削減され、このため各競技とも、昨秋の三重国体参加数を確保できなくなった。

ハンドボールは68チーム(881人)と、三重国体(80チーム、千四百人の15%減となり、日本協会はその配分について9月以来、検討

を重ねてきた。(日本誌15号参照) 47都道府県協会と全国理事から意向調査も行われるなどしたが三重国体で新システムを確立したばかりとあって、意見がさまざまに分かれ、作業が難行。

特に、ローテーション(回転)を申し合わせている少年男女と成年男子(一般)とのからみは、各県の思惑もぞかれ、10月以降の常務理事会では「棚あげ」の状態を進展をみなかった。

結局、12月の会議を前に、荒川理事長と嶋田総務担当常務理事によって、「成年男子一般32、少年女子18、その他各10」を基本とし成年男子一般と少年女子をそれぞれ縮小する方向を打ち出し、各常務理事の了解を得たあと、別表のような配分を確定した。

種別	人数	種別	人数
少年男子	10	少年女子	14
成年男子	24	成年女子	10
教員	10	教員	10

日本協会は当初、削減される12チーム分を成年男子一般にし寄せせる考えを主体にしてきたようだが、少年女子を10に据えおいても成年男子一般の多数確保を希望する意見の強いことが判り、一方で少年のローテーションを2年目で早くも

崩すことへの難色もあってその中間を採る結果に落ち着いた。このため、少年女子2を割り当てられていた東北、北信越、中国四国の4ブロックが、前年なみに留めおかれる不運となった。

査定根拠を、嶋田常務理事は「49年度の高校女子登録チーム数」北海道14、東北53、北信越32、関東166、東海99、近畿115、中国38、四国26、九州75、佐賀4」によつたと説明している。

成年男子一般は、四国が1におさえられたのははじめ、かつてない「狭き門」となり、これを機にかねてからくすぶっていた教員との宿題になっていた佐賀国体の種別配分は、どうやら別掲のとおり落ちついたが、今回、日本協会が、各都道府県協会にて行った意向調査(アンケート)で、改めて国体のありかたを問

合併論が再燃しそうな気配であるなお、佐賀国体の新配分は、昨夏7月31日の全国代議員会で執行部に一任されていたもの。明年の青森国体は、80チームに戻す予定で、その場合、少年男女をどう取り扱うかは、2月下旬の全国会議(理事会、代議員会)で話しあわれる。

「実習助手」教員の部出場へ 日本体協は、これまで国体教員の部(成年男子)に、出場資格のなかった「実習助手」の参加を認めることになり、各競技団体へ通達した。

このシステムを採ると、全都道府県が、毎回必ずいずれかの種別に1チームを送りこむことができるといふもの。このシステムを採ると、全都道府県が、毎回必ずいずれかの種別に1チームを送りこむことができるといふもの。

(注)非常勤講師、事務職員はいぜん教員の部に出場できない。また、今回の決定により「実習助手」は、教員の部以外のチームには加わることができなくなった。青森協会はこのほか、同協会代議員を鹿内一胤氏から斉藤浩氏に変更。また、大阪協会は他界した野原成之亮氏の後任として、当分の間山田計氏を代行に立てることを決めた。

宮崎協会の富永篤美代議員はこのほど辞任された。後任は未定。

の教員チームはすでに「国体再編成のためなら、やむを得ない」としている。解決の糸口はあるが、②は荒天などを考え、日本協会執行部内に難色を示す空気がある。

要望多い「全県参加種別」設定

アンケートの動向からすればすぐにも可決できそうなムードだが、問題は①「教員」存続のメリットがまだ残っている②47チームの場合、ダブルヘッダーを一日組まねと5日間で全試合(47戦)を消化できない、ことだ。このうち①は反論も強く、一部

11月の全国理事会で「全県参加種別」の設定は、今後研究していく」と語っていることもあり、来年の青森国体から、4種別に踏み切って欲しいと期待するムキもある。このほか、女子学生の参加復活や、単独企業チームの辞退などを要望する意見が多い。2月の全国会議が注目される

大同製鋼、3年連続の「3冠王」

女子は日本ビクターが3度目

全日本総合

大同製鋼(愛知)が、3年連続3冠王という大記録をうちたてた。今年度の日本チャンピオン・チームを決める第27回全日本総合選手権は12月9日夜の開会式(岸記念体育会館)につづいて10日から14日までの5日間、東京体育館で行われた。

16チームがしのぎを削る男子は、大同製鋼の偉業成るか、が焦点となって進んだ。決勝リーグでは若さの中大(東京)、打倒大同に燃える湧永薬品(大阪)、上り坂の本田技研鈴鹿(三重)の強豪と火花を飛ばす激戦が演じられたが、本田戦で引き分けにもちこまれたものの堅城はゆるがず、3年連続3度目の優勝を飾るとともに、48年度、49年度につづいて今年度も、全日本3大タイトル(全日本総合、全日本実業団、国体)の独占に成功した。史上初の快挙である。

女子は12チームが参加、トップレベルの実業団各チームが主力を世界女子選手権へ送り、手うすな陣容となったため、淋しさはかくせなかったが、若手の活躍で盛り上がり、結局、日本ビクター(茨城)が2年ぶり3度目の栄冠を飾った。(観衆Ⅱ第1日・一千。第2日・八百。第3日・九百。第4日・一千六百。第5日・二千三百)

男子予選トーナメント

▽1回戦	湧永薬品(実連) 30 (15 15) 14	清水高(高体連) 清水高
▽2回戦	大坂イイ 29 (16 13) 12	三陽商會(実連) 26 (13 13) 14
▽3回戦	大坂イイ 27 (13 14) 16	三陽商會(実連) 26 (13 13) 14
▽4回戦	大坂イイ 24 (14 10) 17	三陽商會(実連) 26 (13 13) 14

日体、後半に離される

清水高、湧永に善戦

大崎電気(実連) 21 (6 15) 12	海上下総(自衛隊) 25 (13 12) 16
本田技研(実連) 31 (19 12) 12	日体大(学連) 25 (13 12) 16
三陽商會(実連) 26 (13 13) 14	日協推(東京) 24 (14 10) 17
大坂イイ 29 (16 13) 12	大坂イイ 22 (14 8) 3
大坂イイ 27 (13 14) 16	大坂イイ 22 (14 8) 3
大坂イイ 24 (14 10) 17	大坂イイ 22 (14 8) 3

大同製鋼 25 (13|12) 16 日体大 25 (13|12) 16

○……Aコート注目の本田×法大は、法大の動きをじっくりとみた本田の手強い攻守が際立ち、思わぬ凡戦に終わった。

法大はエース村田(全日本)がいつものように射って出て、本田を速いペースに引きこもろうとしたが攻め口が多彩になった本田は速攻セットを使い分け田上、矢野の活躍であっさり主導権を握り、特に後半は、先気をなくした法大守備陣をつぎつぎに突破、15分23―9と大差をつけた。

清水高が湧永相手に善戦した。前半6分3―4から9分荒地、12分石川で逆転、13分穂積(全日本)に同点とされたものの、すぐ仲田山口で優位を保つなどコートサイドを沸かせた。

20分を過ぎるあたりからそれまで遠慮勝ちだった湧永攻撃陣も、得意のゆさぶりを見せはじめ、主導権を奪い、後半は穂積の独り舞台となった。

○……Bコートでは、東西を代表するクラブ同士の一戦・大坂イイグルス(教職員1位)×三春台クに興味が集ったが、大阪の組織力が上廻り、前半なればすぎから一方的な展開となった。

「学生チームは苦手」という大同に対して日体大は互格に試合を進め前半12―10とリードして終わったが、後半になると大同によりやくエンジンがかかり15分までに連続6ゴール、あっさり点差が開いた。

しかし、日体大のスピードある攻撃は迫力があった。後半の息切れが悔やまれる。攻撃的な展開が続き面白みの味わえる一戦だった。

中大、決勝リーグへ

三景、本田技研に敗れる

▽2回戦(決勝リーグ進出チーム決定戦)

湧永薬品 22 (14|8) 3 大坂イイ 11 (9|6) 3

全日本総合選手権 審判団

▽審判長	安藤純光(光)	副審判長	清水正(審判員)
	千野恒夫		狩野幸介
	幸田末之		光島磯雄
	森恭一		新村理文
	大塚文雄		岡前義春
	佐分正典		佐野和夫
	斉藤実		住尾勉
	山本孝男		由利弘

○……立ち上り大阪は池本、福井裕で幸先よく3―0とし、リズムに乗るかと思われたが、湧永はGK福井の好守でそのあと30分間追加点を与えず、攻めては11点を連取して主導権を握った。

大阪は、湧永の早いつぶしにあつて、思うように動けず、無策のまま押し切られてしまった。

中大 大 18 (10|8) 7 大崎電気 14 (7|7) 7

○……若さの中大、巧さの大崎。序盤は大崎の老巧な展開が優位となり15分4―1としたが、中大も速攻を活かして25分浦生(全日本)で同点、27分大熊で逆転、以後は大崎に一度もリードを許さなかった。

終盤、大崎は飯田(全日本)を中心に追いあげたが大勢をくつがえすまでには至らなかった。

本田技研 15 (6|5) 11 三景 11 (9|6) 3

○……本田は佐藤(全日本)、新実

歴代ナショナルチャンピオンチーム

【男 子】		【女 子】	
昭12	塚	倉倉	敷敷
昭13	体	高	高
昭15	体	高	高
昭17	以上	高	高
①昭25	ワ	知	知
②昭26	ロ	山	山
③昭27	ポ	全	全
④昭28	ロ	全	全
⑤昭29	ポ	全	全
⑥昭30	ポ	全	全
⑦昭31	ポ	全	全
⑧昭32	全	全	全
⑨昭33	全	全	全
⑩昭34	全	全	全
⑪昭35	全	全	全
⑫昭36	全	全	全
⑬昭37	全	全	全
⑭昭38	全	全	全
⑮昭39	全	全	全
⑯昭40	全	全	全
⑰昭41	全	全	全
⑱昭42	全	全	全
⑲昭43	全	全	全
⑳昭44	全	全	全
㉑昭45	全	全	全
㉒昭46	全	全	全
㉓昭47	全	全	全
㉔昭48	全	全	全
㉕昭49	全	全	全
㉖昭50	全	全	全

で相手守備陣を引きつけておいて長谷川、田上らに得点を狙わせた一方、三景は佐々木(全日本)の好配球を川島、加藤が活かして対抗、一転二転の好試合となった。後半15分本田は11-9としたが三景も17分1点を返しいっそう緊迫。しかし、本田は22分佐藤24分長谷川で3点差をつけ、勝負を決めた。(由利 弘)

男子決勝リーグ
湧永、巧さで本田を制す
湧永薬品 12(9-5) 三陽商會
○……三陽が捨て身の試合ぶりをみせれば、と思ったが、大同はさすがに巧者。食い下られてはやっ

かいとばかり、開始と同時にスパートをかけ、15分には早くも8-0と開いた。三陽は、気をゆるめた大同の凡失につけこんで、後半5分6-9と粘ったが、そのあと再び大同の攻撃をうけた。(杉山 茂)

勢いにのった湧永は、後半も5分までに3点、10-2と予想に反して一方的展開となった。本田はエース佐藤の調子が今ひとつのうえ、新実も単調にすぎ、湧永の巧さにしてやられた。(森 恭一)

絶たれ、肝心なところでのパスマも目立った。後半、どうか攻撃がまとまりはじめたものの、10分8-14では追いかみ切れず、前半の拙攻に泣いた。湧永は有利な展開に余裕をのぞかせ、巧者揃いらしいところを十分に發揮した。(青木)

中央及ぼす
○……今季、公式戦22勝1分という中大の試合ぶりに関心が集ったが、大同のスピディーな攻守が牙えて、前半22分7-1と点差があき、中大は後半4分6-9と迫ったのが精いっ

○……喜井が無用のラフプレーで2度目の警告をうけて退けられ、

あと1分、ダメ押しを狙った新実のシュートもはずれた。大同一気の速攻は、柳川弟(全日本)のゴールとなり14-15。

この時点でも、本田はいぜん有利だったハズ。

ところが、攻めるともキープするともつかぬ中途半端なパスプレーを見せたため、大同につけこまれ、残り32秒苦しませのパスが中井(全日本)のカットにあい、そのまま同点シュートを射ちこまれてしまった。

○……いつになくボンヤリしたプレーの多い大同について本田は終始、自分のペースで試合を進めながら、最後の2分間は、考えられないような拙攻であり、拙守だった。

そこを見逃さなかった大同の粘りはたいしたものだが、内容は完全に「負け」である。(杉山)

中大の反撃に沸く

本田技研	13	(8-6)	12	中	大
鈴鹿	5	(1-6)	12	中	大
得	00241414	000000	000000		
大村松窪生田熊沢	関	立子林保			
【中田小西浦戸大金	関	足坪大大			
GK	(審)	(審)			
野原川	上実野子井川田岡				
【本細牧長	田新矢金喜宮務豊				
得	000117022000	000000			
○……残り10分を切ったからの中大の反撃は、すさまじいものがある	13	(3)	PT	(2)	12



大同、3冠王の主役・FN砲奮戦

(写真上) 中大戦でみせた藤中③の豪快な攻撃 (約場益雄氏提供)
(写真下) 本田戦を救った中井の巧技 (撮影・山田真市)



った。点差は7-12、ここでプレス気味の守りを布いたのが奏効した。まして、本田には前夜の苦しいが残っている。

20分のPTに始って21分蒲生、24分西窪、25分PT、そして26分30秒場内の大歓声をあげて大熊が速攻を決め、同点(12-12)とした。

佐藤を負傷で欠く本田は、新実がマークされると一発がないだけに苦しい。

後半なかばから、まったく得点機をつかめずにいたが、28分やっ

とPTを拾い、田上がゴール。どろにか中大を振り切った。

中大は、前半なかば3-4のあとシュートミスがつづいて20分3-7とはなされたのが響いた。(佐分正典)

大同製鋼 14(6-3)8 湧永薬品

○……大同は、史上特筆されるべき「3年連続3冠王」の偉業を、完べきな攻守で飾ってみせた。

得	00220322001000	000000			
永井野田橋積川本	山	菅原			
【福今木戸高穂津松	森	大市			
GK	(審)	(審)			
兄谷井輪中原村弟田本田原					
【大川倉中花藤松北柳野中守大					
得	0033120311000	000000			
特に、守りの強さは絶讚に価する。	14	(3)	PT	(2)	8

○……最大のヤマ場は、後半41秒湧永が穂積のゴールで4-6としたあとの守りだろう。もしここで点差をさらに詰められていたら、今大会の両チームの出来からみて、勝敗の行方は変わっていたかもしれない。

◇大同製鋼・3年連続3冠王の記録

▽昭和48年度	7月 日本実業団	4勝1分(得113, 失60)
10月 全日薬国体	4戦全勝(得100, 失51)	
12月 全日日本総合	5戦全勝(得135, 失76)	
(6月, 全日本選抜~現在廃会~優勝)		
▽昭和49年度	6月 日本実業団リーグ	4勝1敗(得106, 失64)
10月 茨城国体	4戦全勝(得80, 失41)	
12月 全日日本総合	5戦全勝(得106, 失63)	
▽昭和50年度	6月 日本実業団リーグ	7戦全勝(得144, 失91)
10月 三重国体	5戦全勝(得123, 失61)	
12月 全日日本総合	4勝1分(得91, 失57)	
通算45戦42勝2分1敗(得998, 失564)		

でもよかった。
 案外こうした策が、突破口となるものなのだ。

15分すぎ、ベテラン森を送りこみ、その森がすぐ1点をとったのを見て、相手のリズムを狂わすことはもちろん、時には、自らのリズムも変えてみる必要がある。すべてを知りつくした両チームのかけ引きが、近來にないコクのある決勝戦に仕立てた。

小松市女高、ブラザーに惜敗

女子予選トーナメント

▽1回戦

東京重機 7(4-1)2 3
 (日協推) (佐賀)
 ・東京) (年度)

地・佐賀) (国体開催)

日本ビク 12(5-1)3 4
 ター(日) (学連・東京)
 協推・茨城) (日)

田村紡 13(8-1)6 11
 (実連) (開催地・東京)
 三重) (東京)

ブラザー 10(5-1)1 7
 工業(実) (小松市女)
 連・愛知) (高) (高川)

得000010105100000
 松)谷川田山田下歩戸野出木辺
 【酒西庄中本山千木小西八渡

GK {審・狩野) (審・幸田)

エ田本川木川森下平中石口府
 プ井山原佐中小木宮山楠山国
 得0031041100000

10(1) PT (3) 7

ある決勝戦に仕立てた。
 なお、大同はこれで湧永との公式戦に12連勝である。

大同製鋼・中浜監督の話 故障者が多く苦しい大会だった。それだけに、この3年間でまったく嬉しい優勝だ。
 ウチの力は下り坂だけに、来年はもういちど一から出直したい。

小松市女高、ブラザーに惜敗

女子予選トーナメント

▽1回戦

大崎電気 17(16-1)3 7
 (実連) (徳山ク)
 埼玉) (会人・山口)

立石電機 13(7-1)5 12
 (実連) (東京女)
 熊本) (学連・東京)

〇……Aコートでは、大学勢の食いつりに期待をかけられたが、主力を欠くとはいえず、試合かけ引きに秀れたビクター、田村紡が、部分的に苦戦の場面はあったにせよ最後は勝利を手中におさめ、改めて実業団一学生の「差」を浮き彫りにした。

佐賀は岸川の攻撃力を活かして重機とせりあい、後半9分315、あるいはと思わせたが、そのあと決め手がなかった。

〇……Bコートでは、学生1位の東女体が、立石を苦しめた。後半20分10-13から岩永、西峰で1点差とし、まだ3分間を残して

ていたのだが、立石懸命の守りにあって逆転は成らなかった。
 立石は後半1分8-15とはなしながら、そのあと得点が止まり、11分9-10と引っくり返された。その劣勢の中盤に、平下、池淵ではね返したわけだが、東女体大側からすれば、ここを持ちこたえられなかったのが敗因であろう。

小松市女は、ブラザーの当りの強い守りに戸まどいながら、後半は互角以上の健闘だった。

ブラザーは、前半20分までに連続5ゴールしたため、余祐を保てたが、後半にみせた干歩を切り札にした小松の攻撃が、仮に序盤から發揮されていれば、かなりあわてたはずだ。
 徳山クは後半10分12-14と離されて散った。全国社会人代表の出場権をめぐる論議もあるらしいが、情熱のかたまりのようなチームが乗りこんでくる道を、まだまだ断ち切ってはなるまい。

と映った。
 ところが、策にこだわりすぎて攻撃が単調、後半16分までの41分間にわずか1点という貧攻だった重機も、市川のリードで好機をつかみながら思うにまかせず主導権を握れなかったが、後半、村上がFTから積極的に射ちこみ連続3点、さらに13分横山、15分市川とたたみかけて7-11。

このあとブラザーは、眠りからさめたように反撃したが、24分35秒6-7としたままで及ばなかった。

重機、ブラザー降し「面目」

田村紡、三冠の夢消ゆ

▽2回戦(決勝リーグ進出チーム決定戦)

東京重機 7(2-1)1 6
 工業) (ブラザー)

〇……総勢7人、働き手2人を欠く重機に対し、主力健在のブラザー1。しかも三重国体2位と上り坂だけに、誰の目にもブラザー有利

差を拡げたが、その後は互いに決め手を欠き、盛りあがりのないままに終わった。

立石電機 11(4-1)5 8
 田村紡) (山本孝男)

〇……前半15分を過ぎてから活気づき好テンポ。後半10分7-7のあと立石は平下、池淵で先行、田村も20分三毛で8-9と追いあげ

た。このあとブラザーは、眠りからさめたように反撃したが、24分35秒6-7としたままで及ばなかった。

チーム編成に苦しみ、大会前、いちどは棄権を考えた重機だが、気力をみなぎらせたこの1勝で、前年優勝の面目は充分保たれたといえる。

日本ビク 5(3-1)1 2
 ター(日) (大崎電気)
 協推) (滝口三郎)

スポーツ 充実のとき

ハンドボールゴールネット検定制度実施

- ゴールネットに協会検定制度が実施されます。
- GTOゴールネットは全種検定制度合格になりました。

GTO

株式会社 ジェティオ

本社 大阪府枚田市長津町2番3号 〒564 TEL(06)365-1111(8)

東京・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

だが、速攻ミスで立石に拾われ手痛い失点がつづき敗れた。(荒川)

女子決勝リーグ

重機の2連勝は成らず

日本ビク 9(5-10)4 東京重機
得0 1020100
機紙 川口上田山田

【三】市折村町横寺
GK {木 見藤島谷本田野野鳥
F P {審・幸田
F P {審・狩野

【日】木 蓮斉小染滝池高飯羽
得0 004003110
【鈴】 蓮斉小染滝池高飯羽
得0 004003110

○……重機は、ビクターのフェイントプレーに対するマークが甘く荒い守りをみせて再三PTをとられたのだが、ビクターが不調で1本しか決められなかったため、点差をなされずにすんだ。

しかし、ビクターは19分、久々にユニホームを着たベテラン飯田(旧姓八重樫)が巧みに勝ちこし点を奪い、後半は、小島が連続3本のPTを決める一方、完べきな守りで、重機を振り切った。

ともに主力を欠き、決勝リーグとしては物足りぬ内容だった。

(斉藤 実)

立石電機 7(3-11)1 東京重機
○……互いに手の内を知りつくした同士だったが、個人技に優る立石が、チャンスを功く活かして押

得0 0010000
機紙 川口上田山田
【三】市折村町横寺
GK {木 田崎潤井 下山
F P {審・森利
F P {審・由利

【立石】山 田崎潤井 下山
得0 212002000
【丸】 篠加池石 平森
得0 212002000

重機は前半16分1-1のあとのPTを気負いすぎてはずしてからは、ほとんど好機をつかめず、後半のロング多用も裏目に出て、立石に反撃のチャンスを与えてしまい、12分6-1と大勢が決まった

（新村理文）
ビクターの先制攻撃利く
日本ビク 11(6-3)7 立石電機
得0 304000000
【立石】山 田崎潤井 下山
得0 304000000
【丸】 篠加池石 平森
得0 304000000

○……接戦の予想が、立上りの巧拙であっさり勝敗の行方が決まってしまった。

ピクターは会員がよく走り立石守備陣を押しこんで池田、蓮見、高野らが矢次ばやにポイント、12分5-0と放した。

立石はロングシューターを欠く

主力抜きの全日本総合(女)は疑問

今年の全日本総合選手権は、オリンピック前年のせい、マスコミの関心も高かったようである。事実私が観た最終日も、なかなか活気があったが、疑問を感じたのは、主力抜きの女子を施行したことである。

世界選手権の日程は、かなり前から発表されているのだし、第一、今年のようなケースは、過去にも一度か二度あったはずだ。

にもかかわらず、日本協会がためかカットイン、ポストの繰り返して、相手ディフェンスを切り崩せず、前半なかばすぎ3本のPTを池淵が決めて22分3-5としたものの、そのあと、再びビクターの斉藤、小島らにゆさぶられ、後半7分8-3と点差があいた。

終盤、立石は篠田の活躍で7-9まで追いついたが、ビクターはあわてず、2点を加えて振り切った。

(森 恭一)

男子と同時開催したのは、理解に苦しむ。

日本協会の事業に柔軟性がないのは、感心したことはなく、いかにも計画性に乏しい印象をうけた。

オリンピックや世界選手権とまではいなくても、せめて、2年程度を単位としたスケジュールを組み立てるべきではないのか。

【東京・匿名希望】

日本でも「世界選抜戦」を僕は中学のハンドボール部員で

だが、機関誌で紹介されている世界オールスターズの試合が、是非、日本でも行われるよう計画して欲しい。

また、このような試合のテレビ放映は望まませんか。いずれも、ハンドボールの人気をあげること役立つと思う。

世界オールスターズの一員に本田技研の佐藤選手が選ばれて辞退したようですが、団体よりも、世界の試合に出るべきだったと思う。

【河田 豊】

※：河田君、住所をご連絡下さい

女子4-6位
決定リーグ

予選トーナメント2回戦敗者による)

ブラザー 14(9-5)8 田村紡
工業 9(5-3)8 田村紡
大崎電気 10(5-4)10 田村紡

大崎は、久々に粘りがのぞいた田村紡は、電撃的な解散で、この大会が最後の舞台となった。42年の全盛期を思わず迫力を感じさせ、第2次黄金期ともいえる今シーズンだっただけに惜しい。

引き分け
ブラザー 8(2-1)5 大崎電気
工業 6(1-4)5 大崎電気

2試合とも後半の鋭い動きは、前半の低調からとても想像できないホドだし、「決勝落ち」さえ信じられなくなってくる。

小島、斉藤の両選手が頑張ってくれたのが大きい。

「お天気屋」なことは白神監督も、じゅうぶん承知なのだが良薬がないらしい。

【男子決勝リーグ】

1	大湧本	鋼品研大	同	同	同	同	同	得	失
2	同	同	同	同	同	同	同	48	33
3	同	同	同	同	同	同	同	37	36
4	同	同	同	同	同	同	同	38	42
								30	31

【女子決勝リーグ】

1	日立東	本電重	同	同	同	同	同	得	失
2	同	同	同	同	同	同	同	20	11
3	同	同	同	同	同	同	同	14	12
								2	16
								4	5

【女子4-6位決定リーグ】

1	日立東	本電重	同	同	同	同	同	得	失
2	同	同	同	同	同	同	同	22	13
3	同	同	同	同	同	同	同	15	18
								2	24
								11	16

不況の波まともに……

□……強豪・田村紡(三重)が、この大会をもって14年間の活動に終止符を打つこととなった。

大会第4日の会場で、オーナーの田村正衛氏(日本協会々長)が、記者団に明きらかにしたものだ。

37年デビューと同時に、全日本総合3位となり、42年度には全日本4大タイトルを独占、田村紡時代を築きあげた。

しかし、不況の波をまともにかぶり、経営合理化をせまられていた田村氏は一昨年あたりから休部を考えていたが、日本協会々長という立ち場にあることや地元国体の有望種目として期待がかけられたため延ばされた。

スピーディなパス展開と、出足のよいディフェンス。女子界に「速さ」を持ちこんだ功績は大きいし、最後まで一軍を引っばっていた三毛直子選手の人柄のよさがそのままチームカラーとなっていて、他チームの選手にこれほど好感をもたれていたチームも珍しい。

東京最後の夜、選手たちは、東京重機の合宿所で楽しく過ごした。全試合を終えて帰る支度する選手を、重機の部員たちが「別れ」を惜しんで引きとめたのだ、という。

〔田村紡の優勝記録〕▽全日本総合42年▽全日本実業団41、

42、50年▽国体40、41、42、50年▽全日本選抜(現在廃会)39、40、42年▽東海49回▽東海室内41回▽東海実業団49回

傷だらけの大同主力陣

□……3年連続3冠王という快記録を樹てた大同製鋼(愛知)だが、

湧永戦では松原が右足首をひねり、応急処置をうけての出場——と、控室はまるで病院の待合室みたいなもの。

それだけに、「この3年間もとても苦しい大会だったし、嬉しい優勝」(中浜大輔監督)というこ

～田村紡績最後の大会に～



全日本総合選手権に拾う

来年の目標は、という記者団の質問に、主力選手たちが「まずケガを治すこと」といったのは実感がこもっていた。

チーム編成に一苦労

□……女子の上位へ進んだ実業団各チームは日頃から少

まさにそれは、傷だらけの栄光だった。

藤中(右肩)、中井(左肩)、花輪(右足首)と、全日本トリオの故障が治り切らぬうちに大会を迎え、

第3日からGK柳川兄が扇桃腺をばらして39度前後の発熱、決勝の

数精鋭主義を採っているうえ、世界選手権のため、柱を二本、三本と引き抜かれて、陣容を整えるのに一苦労。

クイーンとなった日本ビクター

は、額賀ら三人の穴を、結婚などですでにユニホームを脱いでいる

飯田(旧姓八重樫)、高野、それに名マネジャーだった羽鳥(旧姓笹沼)の三人に「現役復帰」してもらって埋め、「身体がもたないワレ」というベテラン池田(監督夫人)はついにフル出場。

総勢10人という東京重機(東京)はもっと大変。古佐原、菊地を抜かれて、7人を確保するのがやっと。前回、8人で優勝して話題となったが、今回はさすがに力つきた。

「国際公認球」がアタ?

□……高校界で無敗を誇り、二度目の高校二冠(全日本高校、国体)を飾った小松市女高(石川)は普戦空しく惜敗。

谷口俊春監督は「全国高校界の代表として良い試合をしてくれればよいと思っていたので……」とサッパリした表情だったが、「試合球が、なれている国内向きなものなら、なんとかできたかもしれない」と口惜しさもチョッピリ。ちなみにこの大会は、国内の公式戦で初めて国産の国際公認球が使われた。

一方、男子の清水高(千葉)も、いきなり湧永薬品(大阪)と顔を合わせて散ったが、14点をもぎとる健闘に、賞賛の声が贈られた。

【カット写真】名門・田村紡はこの大会が「最後」となった。対立石電気、三毛の闘志あふれる攻撃ぶり。(撮影・山田真市)

三景グループは使命感経営に燃えています。



Sunline.



ダンレウス



株式会社 三景

三景のネットワーク

- (株)三景 (株)甲商三景 (株)サンテクスタイル (株)北海道三景 (株)東北三景 (株)東京三景 (株)東運 (株)サンレディ (株)サンワード
- (株)サンライン (株)サンジェル (株)サンノーベル (株)サンユニー (株)中央三景 (株)サンライン縫製研究所 (株)サンロード
- (株)北越三景 (株)大阪三景 (株)京都三景 (株)岡山三景 (株)中国三景 (株)九州三景 (株)サンパール

世界へはばたけ日本のハンドボール

(協賛者御芳名・順不同)

<p>建築設計施工 県知事許可(般-48)第1849号</p> <p>協 和 建 築</p> <p>代表者 木村正信</p> <p>奈良市下山町22の1 TEL 0742-24(4716(自宅) 5259(工場))</p>	<p>サイエンスの勝利=抜群の機能性</p> <p>ADDAX BEST QUALITY SPORTS GOODS</p> <p>日本ゴム株式会社 足利アサヒゴム販売株式会社 栃木県足利市弥生町15番地 0284-41-2167</p>
<p>BS ブリヂストンタイヤ</p> <p>那須工場・栃木工場</p>	<p>奈良県ハンドボール協会長</p> <p>堀 内 俊 夫</p> <p>〒632 天理市嘉幡町 TEL 07436-4-0132</p>
<p>各種スポーツ用品</p> <p>田 原 本 ス ポ ー ツ</p> <p>奈良県磯城郡田原本町 TEL 07443 ㊟ 2253</p>	<p>各種精密プレス加工, 金型, 省力機器, 設計製作</p> <p>清 国 産 業 株 式 会 社</p> <p>代表取締役 清 水 国 善</p> <p>本社・工場 栃木県足利市小俣町西大門2690-1 TEL 0284 (62) 0513 (大代)</p>
<p>住み良いくらし 住みよい環境</p> <p>(株) 都 商 事 不動産部</p> <p>(代) 小野瀬都男</p> <p>〒329-06 栃木県河内郡上三川町大字上郷1893 TEL 028556-5525 (代)</p>	<p>杏林会 金 岡 病 院</p> <p>堺市中長尾町2丁82 TEL 0722-52-2641 (代)</p>
<p>スポーツ用具</p> <p>ノダ 運 動 具 店</p> <p>奈良市三条通り TEL 奈良 (22) 5662</p>	<p>株式会社 日 進 商 会</p> <p>横浜市港北区樽町701番地 電話 045-541-7881 (代)</p>
<p>宝 タ ク シ ー</p> <p>無線配車センター 052-682-6000番 ムセンバン</p> <p>宝 交 通 株 式 会 社</p> <p>名古屋市中熱田区伝馬町4-13</p>	<p>医薬品卸売業</p> <p>株式 井 上 誠 昌 堂 会社</p> <p>代表取締役社長 井 上 塩 六</p> <p>本社・高岡店 高岡市笹川2600 TEL 31-0061(代)</p>
<p>アデダス, プーマ特約店</p> <p>ヤバネスポーツ</p> <p>榑原康弘</p> <p>(第11回倉敷インター・ハイ第3位 清水商高選手)</p> <p>清水市大寺2-1-9 TEL 0543-66-1603</p>	<p>クラウン・カーリーナ</p> <p>豊中トヨペット株式会社</p> <p>代表取締役 小西 清海</p> <p>豊中市稲津町2-4 TEL 06-863-6501 (代)</p>
<p>株式会社 高 田 組</p> <p>代表取締役 高 田 義 一</p> <p>(富山県ハンドボール協会長)</p> <p>富山市宝町1の1</p>	<p>美津濃スポーツ特約店</p> <p>みなみスポーツ</p> <p>東海市富木島町伏見1丁目 TEL (0560) 64-5600</p>
<p>新潟県ハンドボール協会</p> <p>柏崎市栄町5-16・柏崎工業高校 TEL 02572-2-5178・5179</p>	<p>石打シーハイル・ロッテ</p> <p>～夏は合宿 冬はスキー～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線に包まれた石打へ, 特急で2時間15分 ・駅・グラウンドまで車にて送迎 ・1泊2食付2,500円, 団体20名以上はご相談に応じます ・70名収容, 冬期シーズンは1泊2食付3,000円 <p>新潟県南魚沼郡塩沢町関山862の2. 02578 ㊟ 3229</p>

2月2日は日本ハンドボール協会の誕生日。昭和13年のこの日、それまで日本陸上競技連盟が持っていた内外への代表権が「日本送球協会(当時の名称)」に譲渡され、本格的なスタートを切ったものです。

以来38年の歳月が流れ、「日本ハンドボール史」も波乱に富んだページを綴っています。近年、その集大成を望む声が高まっています。

日本協会でも、来年度事業から、日本ハンドボール史の編纂を恒久化することに内定となりあえず機関誌編集委員会によって、資料の収集を心がけることとなりました。

しかしながら、過去に、この事業を計画化、組織化したことがないため「0」から出発せざるを得ないのが実情で、機関誌読者を通じ、多くのかたがたの協力を求める以外に方法を見出せません。

今回を「第1回」に、逐次、項目にしたがい資料・情報の提供をお願いいたします。ご支援下さい。

「日本ハンドボール史編纂さん資料」提供の第1回分として、次の6項目につき、諸賢の協力をお願いいたします。

- ① 大正11年(一九二二)日本体育学会夏季講習会の資料
ハンドボールが日本に初めて紹介されたのは、この講習会に於ける大谷武一氏(故人)の講演であったと云われる。同講習会の模様を伝える文献・写真を求めたい。また、同講習会受講者をご存知のかたはご一報下さい。
 - ② 大正11年以降、昭和11年(一九三六)までの資料
学校体育の教材として重視されたともいわれ、社会体育として注目されたともいわれた昭和初期のハンドボール(当時・送球)の活動を伝える文献・写真を求めたい。また、当事者をご存知のかたはご一報下さい。
 - ③ 昭和3年(一九二八)、国際アマチュア・ハンドボール連盟設立に関する資料及び日本陸上競技連盟の名によって加盟した「日本」側の資料
 - ④ ハンドボールを「送球」と命名したいきざつとの文献
 - ⑤ ①に示すように、日本にハンドボールが初めて紹介されたのは大正11年の日本体育学会夏季講習会とされていますが、この定説を打ち消す新しい考証があれば、資料などを添えて、お教へ下さい。
 - ⑥ 昭和11年までに行われた大会、試合の資料がありましたらお知らせ下さい。出場者をご存知のかたもご一報下さい
- * 資料提供などにあたっての条件は、その都度協議することとします。
* ⑤については、特に心あたりがあって、資料提供をお願いするものではありません。
* 第2回は5月号に掲載の予定です。

日本ハンドボール協会 (東京都渋谷区神南1-1-1) (03-467-7097)

大同製鋼に「中部スポーツ賞」

中部地域の報道関係各社によって組織されている中部運動記者クラブは、昭和50年度「中部スポーツ賞」受賞者に、ハンドボール界のビッグタイトルを3年間にわたって独占しつづけている大同製鋼(愛知)を決め、12月17日名古屋で盛大な表彰式を行った。

同賞は中部運動記者クラブ加盟各社の投票によって選ぶもので、大同製鋼は全票(27社)獲得という圧倒的支持をうけた。

ハンドボール関係者が同賞を受けるのは初めてだが、スポーツジャーナリストの高い評価を得たことは、日本ハンドボール界にとっても大きな喜びである。

大阪イーグルスを推せん

日本スポーツ賞部門賞

日本協会は、昨年12月13日の月例常務理事会で、読売新聞社による恒例の「第25回日本スポーツ賞」の候補チーム(部門賞)として、全日本教職員選手権5連勝、国体教員3連勝の大阪イーグルス(大阪)を推せんした。

教職員界、クラブ界のチームが推せんされるのは初。また、大阪のチームが推されたのは第4回(昭和29)の寝屋川高女子チーム以来21年ぶりのこと。

全日本学生は名古屋市長

51年度の主要大会日程

日本協会は、昭和51年度の主要全国大会の日程を次のように確定した。

▽第27回全日本高校選手権、8月1~7日・富山県氷見市運動公園

▽第18回全日本教職員選手権、8月10~13日・青森県野辺地

▽第5回全国中学生大会、8月17~18日・大阪地区

▽第3回全国高専選手権、8月23~24日、新潟県柏崎市(予定)

▽第31回国体ハンドボール競技、10月24~29日・佐賀県神埼町

▽第19回全日本学生選手権、11月19~23日・名古屋

▽第28回全日本総合選手権、12月8~12日・東京体育館

全日本実業団選手権は未発表。

全日本学生東西対抗は9月12または15日、金沢市の予定。

▽来日 舘氏は、昨年12月18日来日。日本協会・荒川清美理事長をはじめ、全日本学連、全日本実連などの首脳と会談した。同氏の話では、韓国ナショナル(男)は若手が中心で、5年前のミュンヘンオリンピック予選(東京)時とはかなり代っている、という。

IHF審判講習会 報告 4

「ハンドサイン」と

「IHFペーパーテスト」

安藤 純光
岡前 義春

18の「ハンドサイン」決める

IHF・RSK (Regel und Scheitsrecher Kommission) ルールとレフェリーの委員会は、一九七五年のオランダのシタルドにおける会議でレフェリーのジェスチャーについて討議し「ハンドサイン」を決定した。

ノルウェー協会から提案された原案は全部で21のサインであったが結局18に集約された。

今さらジェスチャーの問題などと考えられるが、ハンドボール競技がますますスピーディになり円滑な競技運営をはかるためにジェスチャーの統一が必要となったのである。

高く上にあげる) 大きな動作で示さなければならぬ。

1、(次頁の1を示す。以下同じ) ホールディング…ひじを横に張って相手を抱きかかえる形。

2、プッシング…片方のひじを横に張って左右に動かす。

3、ハッキング…片方の腕を前に伸ばし、他方の手でたたく。

4、警告…片方の腕で警を受けるプレイヤーを指し、他方の腕は手をにぎってこぶしをつくり高く上に伸ばす。

5、退場…片方の腕を高く上に伸ばし、2分間の退場のときには2本の指を、5分間の退場のときには5本の指を示す。

6、追放、失格…頭上で腕を交差する。

7、オーバーステップ…腕を前でまわす。

8、チャックル、ダブルドリブ

ル…腕を前に伸ばし上下に振る。

9、フリースロー…片方の腕でポイントを他方の腕で方向を示す

10、スローイン…両腕を平行に前に伸ばす。

11、コーナースロー…コーナースローの行なわれるコーナを指す。

12、ゴールスロー…両ひじを横に張り手首から先は床を指す。

13、3 mの距離…フリースローのときの3 mを指示する。

14と15、得点…センターレフェリーは、片方の腕を高く上に伸ばす。ゴールレフェリーは片方の腕を前に伸ばし次のスローオフの方

向を指示する。

16、レフェリータイム…頭上で「T」をつくる。

17、ストローリング…右手で時計をおさえる。

18、ゴールエリア侵入…ゴールエリアを指して左右に動かす。

ペーパーテストの概要

IHFは、国際審判員に関する制度を改革しようとしている。すでにブルガリアで行なわれた前回の研修会において提案されジェスロでの総会に議案として討議され

裁決されている。

今回はこの中でレフェリーの講習およびペーパーテストの問題と評価について説明が行なわれ討議された。以下はその概要である。

レフェリーの講習は必ずテストをとる。すべ

の質問があり、下に2、3の答え

受ける義務がある。

テストは(a)ルールのテスト、(b)レフェリーの実技テストである。

a ルールのテスト

試験官は解答用紙を用意し受験者は渡された用紙に姓名および国籍を記入し、解答の欄に所定の問題用紙の正解の記号(a、bまたはc)を記入してその用紙を返す。試験官はその中の正解数を合計し、それに見合った評価を記入する。

正解10問以下では不合格

評価は点数制で行う。受験者はいずれも20問に答えなければならぬ。獲得した総合点を以下のよう

に評価する。

正解数 18~20 優秀。15~17 良好。13~14 可。11~12 可。10およびそれ以下 不合格。

レフェリーの実技テストは、観察用紙(採点表)に基いて評価する。

c テストは試験委員会によって総合評価されなければならない成績について書類を作成し、IHF/RSKおよび講習実施の責任者である主管の審判委員会に提出し、さらに修正され評価される。

ペーパーテストの問題は、61~65にわかれています。それぞれに20の質問があり、下に2、3の答え

今年度のNHKテレビスポーツ教室は、日本協会技術部長・渡辺慶寿氏の指導で、3月6、13日の2日間放送される。

放送時間は、両日とも教育テレビ午後6時から7時まで。

安藤、岡前、佐野の3氏

IHF(国際ハンドボール連盟)は、このほど新しい国際公認審判員名簿を発表した。

それによると、33ヶ国239名がライセンスを受けており、日本からは、安藤純光、佐野和夫、岡前義春の3氏。

アジア地域では台湾4、イスラエル4、クウェート3、シリア4となっている。

がある。この中の正しいものを解答用紙に記号で記入するようになっている。以下は問題の63である。

NHKテレビスポーツ教室

今年度のNHKテレビスポーツ教室は、日本協会技術部長・渡辺慶寿氏の指導で、3月6、13日の2日間放送される。

放送時間は、両日とも教育テレビ午後6時から7時まで。

安藤、岡前、佐野の3氏

IHF(国際ハンドボール連盟)は、このほど新しい国際公認審判員名簿を発表した。

それによると、33ヶ国239名がライセンスを受けており、日本からは、安藤純光、佐野和夫、岡前義春の3氏。

アジア地域では台湾4、イスラエル4、クウェート3、シリア4となっている。

がある。この中の正しいものを解答用紙に記号で記入するようになっている。以下は問題の63である。

質問表 63

1 ゴールポストおよびバーの色を塗る間隔は。

a 20 cm

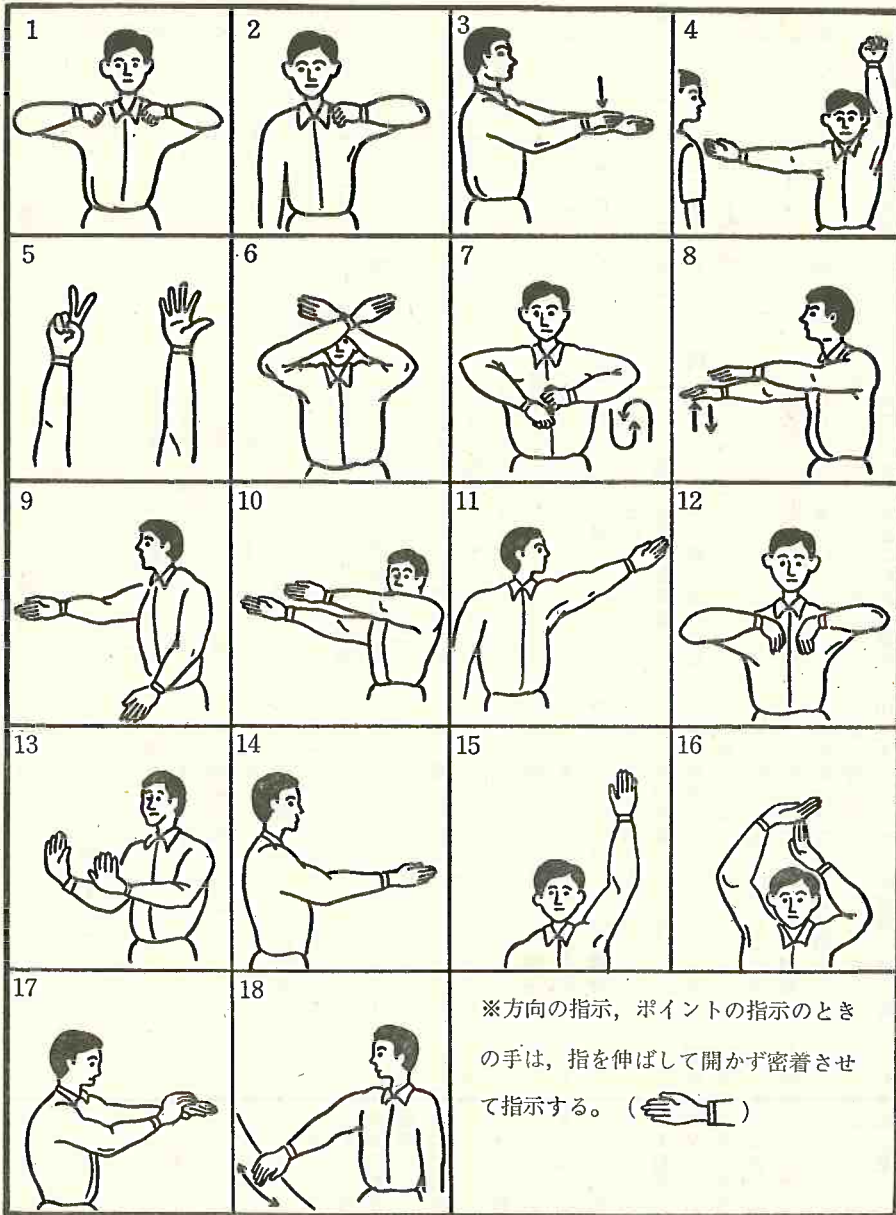
b 28 cm

c 角が28 cmとして他の部分は20 cm、

2 ベンチには次の者だけが入れ

る。

a 交替プレイヤー5名とチ




ム役員4名
 b 残りのプレイヤーならびに
 マネージャー、コーチおよび
 医師。
 c 残りのプレイヤーならびに

チーム役員4名
 3 女子および少年用のボールは
 競技開始前に次の周囲と重量が
 なければならない。
 a 周囲56〜58cm、重量325〜400

g、b 周囲54〜56cm、重量350
 425g c 周囲54〜56cm、重
 量325〜400g
 4 プレイヤーがプレイの進行中
 に競技場の外に出て、その直後

に再び競技場に入った場合。
 a これは競技場を去ったとみ
 なされる
 b これは競技場を去ったとは
 みなされない。

得ないとき。
 c 必ず罰せられる。
 7 相手を胴体で阻むことは許さ
 れている。
 a たとえ相手がボールをもっ
 ていない場合でも、
 b 相手を片腕あるいは両腕で
 抱きつくことも許されている
 c また両手を使って阻止する
 ことも許されている。
 8 ボールがゴールエリアライン
 に触れた場合。
 a ボールはゴールエリアの中
 にあり、ゴールキーパーに属
 する。
 b ボールはまだゴールエリア
 の中にあるとは認められず、
 したがってフィールドプレイ
 ヤーが触れてもよい。
 c ボールはまだ完全にゴール
 エリアの中にはない。したが
 って防禦しているチームのフ
 ィールドプレイヤーが触れる
 こともよい。
 9 ゴールキーパーは、ゴールエ
 リアの中ではボールをもって無
 制限に動くことができる。
 a ただし、レフエリーが、プ
 レイをおくらせるものと判断
 しない場合に限る。
 b レフエリーがスローの笛を
 吹いた場合にも制限はない。
 c レフエリーがプレイをおく
 らせるという理由で笛を吹い
 たときに限って。

※方向の指示、ポイントの指示のとき
 の手は、指を伸ばして開かず密着させ
 て指示する。()

5 何回もく
 り返し誤っ
 た交替をし
 た場合には
 フリースロ
 ーの他に、
 a 2分間の
 退場の罰も
 加える。
 b 5分間の
 退場の罰も
 加える。
 6 ボールに
 脛または足
 で触れるこ
 とは禁ぜら
 れている。
 ただしボー
 ルが相手の
 プレイヤー
 によって投
 げつけられ
 た場合は除
 く。足の反
 則はいつ罰
 せられるか
 全く罰せ
 られない。
 b それによ
 って利益を
 得ないとき。
 c 必ず罰せられる。
 7 相手を胴体で阻むことは許さ
 れている。
 a たとえ相手がボールをもっ
 ていない場合でも、
 b 相手を片腕あるいは両腕で
 抱きつくことも許されている
 c また両手を使って阻止する
 ことも許されている。
 8 ボールがゴールエリアライン
 に触れた場合。
 a ボールはゴールエリアの中
 にあり、ゴールキーパーに属
 する。
 b ボールはまだゴールエリア
 の中にあるとは認められず、
 したがってフィールドプレイ
 ヤーが触れてもよい。
 c ボールはまだ完全にゴール
 エリアの中にはない。したが
 って防禦しているチームのフ
 ィールドプレイヤーが触れる
 こともよい。
 9 ゴールキーパーは、ゴールエ
 リアの中ではボールをもって無
 制限に動くことができる。
 a ただし、レフエリーが、プ
 レイをおくらせるものと判断
 しない場合に限る。
 b レフエリーがスローの笛を
 吹いた場合にも制限はない。
 c レフエリーがプレイをおく
 らせるという理由で笛を吹い
 たときに限って。

- 10 ゴールキーパーが、コントロールされたボールを故意にゴールラインを越えてプレイすることとは禁じられている。レフエリーの判定は。
- a ペナルティースロー
b ゴールスロー
c フリースロー
- 11 1人のプレイヤーが高く飛び上ってゴールエリアへ落ちた。しかしその前に彼はボールを味方のプレイヤーにパスした。パスを受けたプレイヤーは味方のプレイヤーがまだゴールエリアの中にいるのにシュートをしたこのゴールは無効か。
- a 無効である。
b 有効である。
c その味方のプレイヤーがゴールキーパーの妨害をしない場合に限って有効である。
- 12 レフエリースローは、ゴールエリアとフリースローラインの間においても行なうことができるか。
- a どこでもできる
b フリースローラインのすぐ外で
c ある場合にはできる。
- 13 故意にくりかえされた違反の場合(第6条の8のすべての場合)には、レフエリーはただ単にフリースローの判断を下すだけではなく、さらに
- a 反則をしたプレイヤーに警告もしなければならない、くりかえした場合にはそのプレイヤーを退場、または追放することもしなければならない
b 反則したプレイヤーを同時に退場または追放することもしなければならない
c 反則したプレイヤーを同時に失格させるかまたは退場させることもしなければならない
- 14 あるプレイヤーが3mの間隔を守らないために警告を受けたさらに後にそのプレイヤーは相手をおさえこむか、たいたためめに2分間退場させられた。今彼はまた間隔を守らないために退場させられたとする。その罰はいかなるものとなるか。
- a 5分間の退場
b 2分間の退場
c 5分間の退場の後失格
- 15 レフエリーは、競技をいつ打ち切ることができるか。
- a 外に出されるプレイヤーが勧告にもかかわらず、競技場を去らない場合に。
b シュートがゴールポストに当たってゴールがこわれた場合に。
c 退場者が数多く出てその結果1チームのプレイヤーの数が5名以下に減った場合に。ペナルティースローを行なうとき、笛の後でボールがスロー
- 16 1の手から落ちた。そのボールを味方のプレイヤーがひろいシュートしゴールに入った。レフエリーは何を判定するか。
- a ペナルティースローをやりなおす。
b ゴールイン
c 相手方にフリースローを与える。
- 17 相手を腕、手または脚を使って阻止することは許されているか。
- a ボールをもっているプレイヤーだけを阻止してもよい。
b 禁止されている。フリースローあるいはペナルティースロー。
c 相手のプレイヤーが急速につきぬけるときには許されるボールを投げてから防禦側のプレイヤーがゴールエリアに入ることが許されている。
- 18 許されない。フリースローあるいはペナルティースローに許される。ただしこれが相手にとっていかなる不利益の因にならない場合に限って。
- c 許されない。フリースロー
- 19 1プレイヤーの退場時間が前半のハーフタイムの終りになってもまだ終わらない。この場合に処置するか。
- a 退場させられたプレイヤーは、退場時間の残りを後半のハーフタイムのはじめに退場
- 20 1プレイヤーが3mの間隔を守らなかったために2分間退場させられた。後に同一プレイヤーが相手に抱きついたために2分間退場させられた。今彼はまた3mの間隔を守らないために退場させられることになった。レフエリーの判定は。
- a 2分間の退場。
b 5分間の退場。
c 5分間の退場の後、失格。
- 以上は IHF / RSK の国際審判員認定テストのルールに関する問題の1例である。このような方式はすでに国内においても A 級、B 級申請者に対して実施されている。
- 設問については大体同様であるが、問題の数と評価については日本ハンドボール協会の方がきびしいようである。
- テストは英・独・仏語で行われる。

三菱レイヨン株式会社

☆ ス
☆ ク
☆ ピ
☆ ト
☆ 外
☆ 海

杉山茂
(NHK運動部)
大慶

フランス、今秋中国遠征へ

フランス・ナショナルチームが今秋11月上旬、中国(IHF未加盟)へ遠征することに内定した。フランスのスポーツ紙「レキック」が伝えているもので、3~5試合を行う予定という。中国ハンドボール界が復活して以来、ヨーロッパチームが中国遠征するのは、49年8月のチミンアラ工業学院(ルーマニア)、50年3月のユーゴ・ナショナルについてフランスが3番目。

ソ連、東ドイツ破り優勝

バルト海カップ

第8回バルト海カップは、オリンピッククイヤーのへき頭を飾るピグトリーナメントとして、1月7日から10日までの4日間、ストック

ホルムに強豪6カ国が参集して開かれた。

2組の予選リーグでは、予想どおり、ソ連、東ドイツが順当にトップとなり、両国による決勝は、ソ連が、後半巧みに試合を運んで優勝を飾った。ソ連は後掲のトピリシ国際につづき2連勝と好調。オリンピック予選(18頁参照)の1次リーグで東ドイツを破り、注目を集めている西ドイツは5位に留った。

予選リーグA組

ポーランド 27 — 20 デンマーク

東ドイツ 25 — 12 デンマーク

東ドイツ 25 — 24 ポーランド

同B組

ソ連 21 — 18 スウェーデン

スウェーデン 20 — 16 西ドイツ

ソ連 19 — 16 西ドイツ

5位決定戦

西ドイツ 16 (9—5) 14 デンマーク

3位決定戦

ポーランド 25

1 2 : 12 10

1 1 : 1 12 10

24

デン

スウェー

決勝

ソ連 21 (1011) 19 東ドイツ

ノルウェー、ユーゴ降す

「北極杯」と銘打って、1月12

日から3日間、オスロを中心にしたノルウェー国際トーナメントが開かれ、地元ノルウェーがレイナートセン、テイルダルらの活躍で強豪ユーゴラをおさえて、優勝を飾った。

ノルウェー 25 — 20 フランス
ユーゴ 31 — 24 ブルガリア
ユーゴ 21 — 16 フランス
ノルウェー 30 — 21 ブルガリア
ブルガリア 26 — 20 フランス
ノルウェー 20 (119—108) 18 ユーゴ

【順位】①ノルウェー②ユーゴ③ブルガリア④フランス

ソ連、すばらしい攻守

トピリシ国際

恒例のトピリシ(ソ連)国際大会は、昨年来れ男子の有力チームが顔を揃えて行われ、各試合とも乱戦模様だったが、地元ソ連がすばらしい攻守でユーゴ、ルーマニアを押し切り優勝を飾った。

主な記録次のとおり。

ポーランド 23 (1211) 18

ルーマニア

ソ連 20 (137) 7 6 13

ユーゴ

ポーランド 23 (1216) 13 9 22

ポーランド

ソ連 28 (1216) 13 9 22

ポーランド

ユーゴ 29 (1514) 15 14 24

ルーマニア

ソ連 23 (1112) 12 8 20

ルーマニア

ユーゴ 26 (1115) 13 11 24

ポーランド

ユーゴ 22 (1115) 13 11 24

ポーランド

ユーゴ 22 (715—1210) 22

ソ連新人

引き分け

【順位】①ソ連5戦全勝②ユーゴ3勝1分1敗③ポーランド3勝2敗

④ルーマニア2勝3敗⑤ソ連新人

1勝1分3敗⑥ジョルジア選抜5敗。

ルーマニア、順当勝ち

スラスクカップ女子

世界女子選手権最後の前哨戦となったスラスク・カップ女子国際トーナメントは、11月末、ポーランドで4カ国5チームによって行われ、ルーマニアがチエコと引き分け、以外、順当に勝ち進んで首位を決めた。

最高得点はマチソバ(チエコ)の24点、最優秀GKはマカラスコバ(チエコ)だった。

ルーマニア 15 — 9

ポーランド J

ポーランド 18 — 17

チエコ

ポーランド 24 — 8

ポーランド J

ルーマニア 19 — 14

スウェーデン

チエコ 24 — 13

ポーランド J

ポーランド 18 — 13

スウェーデン

スウェーデン 16 — 11

ポーランド J

ルーマニア 11 (分) 11

チエコ

チエコ 14 — 13

スウェーデン

ルーマニア 13 — 12

ポーランド

【順位】①ルーマニア②ポーランド

③チエコ④スウェーデン⑤ポーランド⑥ジュニア

ヨーロッパ

男子第16回ヨーロッパカップは、22カ国の代表(選手権チ

ーム)が参加して熱戦をつづけているが、昨年末までに1、2回戦を終わりに、ベストエイトが出揃った。

予想どおり、VfL・グンメル

スバッハ(西ドイツ)、ボラック

ニヤ・ルカ(ユーゴ)の両強豪が順

当に勝ち進み、イスラエル・チャ

ンピオンのハポエル・レコボトは

シタルデア・シタルト(オランダ)

に14—21、12—14で敗れた。

また、女子第15回ヨーロッパ

カップは、近く1回戦5カードが行

われ、不戦の3カ国を加えてベスト

エイトとなる。

ヨーロッパ

本誌135号でご紹介したとおり、今

シーズンから始め

られた男子のビッグトーナメント

15カ国参加による1回戦が終わり、昨春来日したバロンマ・グ

ラノリエス(スペイン)ら準々決

勝進出の8クラブが決まった。

このトーナメントにも、イスラ

エルからマルコピッツ、カロジニ

ゴス、バラクラを主力としたハポ

エル・ラマツガンが参加していた

が、マルセイユ・UC(フランス)

に13—16、14—15で敗れている。

近畿実業団リーグ

湧永薬品が順当の5連勝

5年目を迎えた近畿実業団選手権は、新たにリーグ制を採用、まず昨年11月15日から29日までの4日間6チームが参加して2部リーグが行われ川崎重工(兵庫)が優勝。同チームと前年までの上位5チームの6チームによって11月15日から12月6日までの6日間、1部リーグが行われた。

その結果、日本実業団リーグ(6月)2位の湧永薬品(大阪)が、順当に勝星を重ね5戦全勝、第1回以来、不敗の5連勝を飾った。主会場は、1、2部とも大阪市中央体育館。

▽1部

大山商会	23	1211	9	15	大阪ガス
(大阪)					(大阪)
丸善石油	15	7	5	13	大山商会
(和歌山)					
湧永薬品	30	1416	8	10	大阪ガス
(大阪)					
神戸製鋼	18	711	9	15	丸善石油
(兵庫)					下津
湧永薬品	32	1418	7	3	神戸製鋼
丸善石油	21	1011	7	9	川崎重工
下津					(兵庫)
湧永薬品	30	2010	4	5	川崎重工

丸善石油	20	911	2	7	大阪ガス
下津					
大山商会	18	810	5	6	川崎重工
神戸製鋼	17	107	4	4	大阪ガス
湧永薬品	19	712	7	4	大山商会
神戸製鋼	15	123	3	4	川崎重工
川崎重工	20	713	9	8	大阪ガス
神戸製鋼	12	814	7	4	大山商会
湧永薬品	29	1514	5	5	丸善石油
					下津

2部は川崎重工勝つ

▽2部

川崎重工	15	13	京都信用金庫(京都)
(兵庫)			
三井造船	19	13	鐘淵化学(兵庫)
(大阪)			
日鉄建材	16	13	鏡淵化学
(大阪)			
川崎重工	20	19	美津濃(大阪)
日鉄建材	20	9	三井造船
京都信用金庫	22	10	美津濃
川崎重工	17	15	日鉄建材
鐘淵化学	13	11	美津濃
京都信用金庫	18	10	三井造船

復活の関東実業団

東京重機、三井石油化学降す

全国実業団トーナメント(2月8~11日・舞鶴)の関東地区代表決定戦を兼ねた復活第1回関東実業団選手権(男子のみ)が、12月14日、千葉県市原市の三井石油化学体育館で行われ、東京重機(東京)が、ホームコートの三井石油化学を押し切り初優勝した。関東実業団選手権は、43年度から45年度までの3回行われているが、構想を新たに1955年ぶりに復活したものである。

▽第1ラウンド

大成プレ	18	10	6	12	日本鋼管(神奈川)		
(東)							
東京重機	22	139	4	5	安田生命(東京)		
(東京)							
三井石油	22	9	13	8	6	14	原子力研究所(茨城)
化学(千葉)							
丸善石油(千葉)	×在原製作所(東京)は両チーム兼権で不成立。						
▽決勝リーグ							
東京重機	兼	権	大成プレ				
三井石油	兼	権	大成プレ				

三井造船	18	13	美津濃
【順位】	①川崎重工	5戦全勝(11)	1部(昇格)
	②日鉄建材	4勝1敗	3
	③京都信用金庫	・鐘淵化学	・三井造船
	2勝3敗	⑥美津濃	5敗

東京重機 24(915) 8 16 三井石油化学
 【順位】①東京重機②三井石油化学
 ③大成プレ④ハブ⑤いずれも全国実業団トーナメントへ。
 (注)以上の3チームのほか、関東地区代表2チームを安田生命、原子力研究所、日本鋼管京浜のリーグ戦(4~6位決定戦)で選ぶ予定だったが、日本鋼管京浜の兼権により、他の2チームが代表権を獲得。

中京、17度目の優勝

東海学生秋季リーグ女子
 東海学生女子秋季リーグ戦は昨秋(10月10日)26日)4大学が参加して名大球技場で行われ、中京×中京女の争いから、中京が2-1という僅少差で勝ち、春の雪じよくを遂げた。中京の優勝は2シーズンぶり17度目。(男子は既報)

中京	11	6	2	5	岐阜大	
中京女	9	3	1	1	8	愛知教大

中京	8	5	3	4	7	愛知教大	
中京女	9	5	4	2	2	4	岐阜大
愛知教大	6	5	1	3	3	5	岐阜大
中京	2	1	1	0	1	1	中京女

▽東海学生男子秋季1・2部入れ替え戦(11月23日、岐阜大)

岐阜大	13	8	5	4	9	愛大豊橋
(1部)						(2部)
滋賀大	10	4	4	3	9	名古屋工
(2部)						(1部)

名城と愛知教大B優勝

第16回愛知学生選手権は昨年11月26日から12月5日までの6日間名古屋市体育館を中心に男女8校21チーム、女子4校7チームが参加トーナメント法式で行われ、男子は名城、女子は愛知教大Bが勝った。

▽男子3位決定戦
 中京 22-18 中京B

▽同決勝
 名城 16(9-6) 12 名城B

▽女子決勝
 愛知教大 11(7-3) 8 中京女

入り乱れる古豪、新鋭32チーム

8日から 舞鶴市で 全国実業団トーナメント

第7回全国実業団(男子)トーナメントと第16回全日本実業団選手権トーナメントの部は、2月8日から11日までの4日間、京都府舞鶴市体育館を主会場に、32チームが参加して行われる。

頭抜けたチーム見当らず

今年から、これまでのフリー参加を廃め、ブロック(4地域)推せん制を採用、充実を企てている。前回1、2位の日新製鋼(広島)と三陽商会(東京)が、日本実業団リーグで健闘したのをみても、全国的なレベルアップをうかがわせ、また、初出場の日鉄建材(大阪)のように、主戦メンバーが揃って19才といった若い人材の登場も目立つ。

大同製鋼などリーグ勢は規定に

より、参加しないが、活気のある大会になりそうだ。

それだけに優勝争いを占うとなると例年よりいちだんと難しい。頭抜けた実力を誇るチームはなく、チーム側も「優勝」などと高望みをせず、「ともかく第1戦に勝つこと」「ベストエイトに進めれば……」といった控え目な目標を立てているところが多い。

そのなかで、有力とみられているのは、神戸製鋼(兵庫)、丸善石油(和歌山)、大山商会(大阪)の近畿勢を筆頭にトヨタ車体、新日鉄名古屋の愛知両チーム、関東予選1位の東京重機(東京)、金沢

市役所(石川)、セントラル自動車(神奈川)あたりだ。大山商会は3年前の優勝チームセントラル自動車は、つねにベストエイトへ進出、2位2回、4位1回の実績をもつ。

2回戦に予想されるセントラル×神戸製鋼が、優勝争いの一つのヤマ。

このほか、古い球史を誇る住友化学(愛媛)、王者・大同の弟チーム、大同製鋼高蔵(愛知)、ペテランを揃えた日本発条(神奈川)安田生命、大成プレハブ(ともに東京)、丸善石油(和歌山)、北陸電力(福井)、三井石油化学(千葉)日本鋼管(福山)など、攻守のバランスがとれた好チームもある。

前々回3位の二和家具(岐阜)も浮上を狙う。

自衛隊勢では、参加選手のなかで唯一一人のオリンピック候補・平野をもつ海上自衛隊(千葉)に注目が集まる。地元・海上舞鶴(京都)も初出場ながら上位を狙っている。

なお、例年上位2チームは、日本実業団リーグの上位と入れ替えて戦っているが、今回は日本リーグがらみとあって、はっきりとした線は打ち出されていない。

また、各県にほとんど実業団が出揃ったと伝えられる九州地域から、一チームの参加もなかったの

は淋しいことである。

第3回海上自衛隊ハンドボール全国大会が2月24日から26日までの3日間、鹿児島県・鹿屋市体育館に18チームが参加して開かれる。

海上自衛隊で隊員の体力向上にハンドボールが導入されては10年となり、航空部隊各地方隊の大会が毎年行われるこの全国大会は隔年開催。49年の第2回大会(本誌116、117号参照)をしのごく活況が予想される。

今回の大きな特色は、各チームの編成単位を、各部隊の編成(大部隊、小部隊)とし人員を平均化したことである。そのため、山口県内の岩国と小月が連合するかと思えば千葉の館山と徳島が合体するなど海上自衛隊ならではの整理統合がみられている。

組み合わせの抽せんが終っていないため、覇権の行方を占うのは難しいが、中心とみられるのは、今シーズン一段の進境を示した下総(千葉・全日本自衛隊選手権優勝)と過去2回の優勝を誇る鹿屋(鹿児島)・沖繩連合の両チームだろう。

このほか、古豪・佐世保(長崎)の巻き返し、前回3位の第2護衛隊群、明年の地元

国体を控え練習量充分といわれる前4回位の大湊(青森)からも上位を狙う力がある。

また、初参加の舞鶴(京都)は昨年まで下総を指導していた本田氏を転勤で迎え、チーム力をあげており、鹿屋2連勝の原動力となったGK中蘭を加えている館山・徳島連合も悔れない。

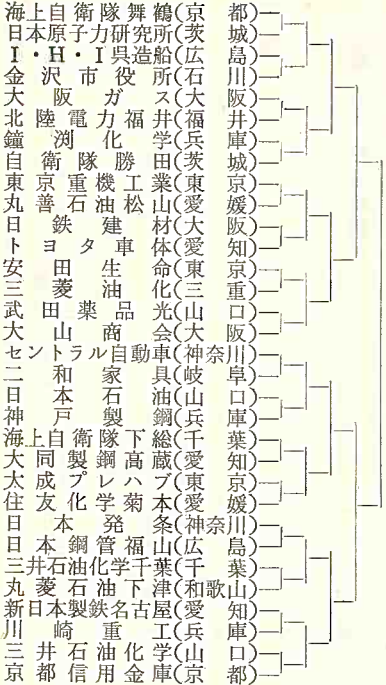
【田村幸雄】

◇参加チーム 横須賀(神奈川) 呉(広島) 佐世保(長崎) 舞鶴(京都) 大湊(青森) 各地方隊、厚木(神奈川)、八戸(青森)、下総(千葉)、江田島(広島)、「岩国・小月連合」「館山・徳島連合」「鹿屋・沖繩連合」「1・2潜水隊群」「1・2掃海隊群」、1、2、3、4各護衛隊群。

全日本自衛隊は6月

全日本自衛隊連盟は、第8回全日本自衛隊選手権を、今夏6月9日から13日まで、東京・駒沢球技場を主会場に行うと発表した。

また、「日本リーグ」に対応しては自衛隊球界内のレベルアップ、普及を優先させる、として、当分の間は消極的な姿勢で臨むとしている。



各地の記 録

京都クが4年連続優勝

第6回近畿クラブ選手権は、全日本総合選手権全国社会人西地区代表戦に活出場する近畿代表権をかって、昨年11月16日、大阪市中央体育館に滋賀、和歌山を除く4県の代表が参加して行われ、京都クがエース福井の活躍で都島工ク(大阪)を破り、4年連続優勝を飾った。また、今年からC登録部門と女子部門も始められ、ぼんちフエローズ(大阪)と寝屋川ク(大阪)が勝った。

▽1回戦
 都島工ク 15(105-11) 10 生駒ク(大阪)
 京都ク 29(1712-145) 9 モンシエ(京都)
 京大 22(1111-79) 16 都島工ク
 ぼんちフエローズ 28(1315-96) 15 桜陵ク(大阪)

▽女子決勝
 寝屋川ク 23(149-10) 3 兵庫ク(大阪)
 中大、2年ぶりで制覇
 女子も重機が3年ぶり
 第13回東京選手権は、男女トッブチームが参加して昨年11月4日から30日まで法大グランドなどでトーナメント法式で行われ、男子は、学生チャンピオンの中大が、三景、大崎電気(埼玉)など実業団の強豪を制し、2年ぶり2度目の優勝を飾った。

女子は、予想どおり東京重機がまとまりのある攻守で、3年ぶり4度目の優勝を遂げた。
 男子3回戦(8試合)
 中大 23-14 日大
 早大 24-16 東京重機
 日体大 27-20 日体大C
 三陽商会 37-5 荏原製作所
 大崎電気 25-6 日体大B(埼玉)

▽同準々決勝
 東京教員 29-12 聖ポール
 法大 21-11 稲門ク
 三陽商会 17-13 東京教員
 中大 18-16 日体大
 三陽商会 17-13 東京教員
 大崎電気 22-17 法大
 中大 26-21 大崎電気
 三景 19-11 三陽商会
 ▽同3位決定戦

大崎電気 20-10 三陽商会
 泉丘会(泉ヶ丘高OB)は2連勝
 小林市体育館
 小林市2回戦(6試合)
 小林工高 15-12 諸塚青年
 都城商OB 29-15 都城工専
 宮崎教員 29-21 旭化成
 都城工高 9-8 日南工高
 宮崎工高 10-7 西都商高
 宮崎大 20-15 延岡高

▽同準決勝
 泉丘会 15-7 小林工高
 宮崎教員 17-14 都城商OB
 宮崎ク 15-11 都城工高
 宮崎大 20-11 宮崎工高
 泉丘会 25-14 宮崎教員
 宮崎大 19(分) 19 宮崎ク
 PTコンテスト3-2で宮崎大の勝ち
 泉丘会 29(1415-96) 15 宮崎大

▽同決勝
 泉丘会 29(1415-96) 15 宮崎大

▽女子1回戦(1試合)
 小林商高 27-4 日南振徳高
 同準々決勝
 泉ヶ丘高 22-0 本庄高
 都城西高 8-5 延岡高
 小林商高 14-3 泉友会
 西都商高 10-7 都城商
 同準決勝
 泉ヶ丘高 9-6 都城西高
 小林商高 18-5 西都商高
 同決勝
 小林商高 15(9-1) 4 泉ヶ丘高
 小林商高は2連勝

三重教員と田村紡
 第26回三重県総合選手権(11月津女高)
 男子2回戦(7試合)
 桑名西高 17-8 鈴鹿工専
 本田技研 25-6 津工高
 本田技研B 45-9 四日市高
 三重大 14-11 日本合成ゴム
 四日市工高 16-14 鳥羽商船
 三菱油化 17-8 半田ク
 教員OB 25-15 三重大B
 同準々決勝
 四日市工高 25-8 三重大
 桑名西高 棄権 本田技研
 教員OB 13-10 三菱油化
 三重教員 棄権 本田技研B
 同準決勝
 三重教員 17-8 桑名西高
 教員OB 15-14 四日市工高

▽同決勝
 三重教員 26(1214-15) 13 教員OB
 女子1回戦(6試合)
 高 5-2 菟野高
 津女高B 9-7 亀山高
 津女高OG・B 15-13 四日市商高
 田村紡OG 14-2 上野商高
 四日市高B 14-2 津女高OG
 暁高OG 4-3 津女高
 同準々決勝
 田村紡 25-0 暁高
 津女高OG・B 8(延) 7 津女高B
 田村紡OG 7-4 四日市高
 暁高OG 10-3 四日市高B
 同準決勝
 田村紡 20-4 津女高OG・B
 暁高OG 棄権 田村紡OG
 同決勝
 田村紡 19(109-12) 5 暁高OG

田村紡OGおとろえぬ個人技
 □……女子でベスト4に進出した田村紡OGは、往年の名手がズラリ。「練習不足」でさすがに、かつて全国のファンをうならせた俊足とクイックプレーは鈍ったが、個々のテクニクは抜群。高校選手も目をみはっていた。
 最終日は、それぞれ家庭の都合でメンバーが揃わず、惜しくも棄権となったが、選手側も、主催者側も「来年の出場」を待望……。(中根)
 (田村紡OG)▽GKN南(旧姓)

世界へはばたけ日本のハンドボール

(協賛者御芳名・順不同)

新潟ハンドボール協会会長

近藤 薬局

柏崎市東本町2丁目
TEL 02572-2-2604

スポーツ用品 体育器具全般

あけぼのスポーツ用品店

名古屋市昭和区北山本町1-9
(曙町1交叉点南)
TEL (052)731-5267 733-2344

大きな夢 豊かな暮らし

生活に密着したアルミ容器の総合メーカー

武内プレス工業株式会社

代表取締役 武内宗八
本社工場 富山市上赤江町7丁目10番1号
TEL 0764 (41) 1856 (代)
大阪工場 神戸工場・東京営業所・名古屋営業所

愛知県ハンドボール協会推薦

ゴールドキング印トレーニングパンツシャツ製造発売元

有限会社 小林産業

名古屋市西区平出町367番地
〒452 TEL (052)501-7028

オニツカタイガー用品・スポーツ服装・専門店

株式会社 イナガキスポーツ

名古屋市東区水筒先町4-4
TEL 052-935(5075/8110)

一般運動用品 体育施設

株式会社 北野屋スポーツ

柏崎市東本町1丁目 TEL 02572 (3) 2345, 5013

<p>▽男子準々決勝</p> <p>名古屋市工 12 — 11 名古屋市工芸</p> <p>中 京 18 — 13 春日井</p> <p>豊橋工 11 — 9 岡崎</p> <p>桜台 6 — 5 愛知</p> <p>▽同準決勝</p> <p>名古屋市工 13 — 6 中 京</p> <p>▽同3位決定戦</p> <p>豊橋工 14 — 11 桜台</p> <p>▽同決勝</p> <p>桜台 11 — 9 中 京</p> <p>▽女子準々決勝</p> <p>名古屋市 17 (8 9) — 4 豊橋工</p> <p>▽同準決勝</p> <p>名古屋商 6 — 4 若宮商</p> <p>市 郷 14 — 9 岡崎</p> <p>緑ヶ丘商 8 — 6 蒲郡東</p> <p>岩 津 15 — 3 一 宮</p> <p>▽同準決勝</p> <p>市 郷 16 — 7 名古屋商</p> <p>岩 津 14 — 3 緑ヶ丘商</p> <p>▽同3位決定戦</p> <p>名古屋商 10 — 4 緑ヶ丘商</p> <p>▽同決勝</p> <p>市 郷 8 (3 5) — 1 4 岩 津</p> <p>▽第9回沖繩県総合選手権(11月・沖繩高)</p> <p>▽男子準々決勝</p> <p>沖繩国際大 22 — 12 小祿OB</p> <p>琉球大 20 — 5 北山高</p> <p>大知会 13 — 4 那覇商高</p> <p>沖繩教員 32 — 15 浦添高</p> <p>▽同準決勝</p> <p>沖繩教員 13 — 9 琉球大</p> <p>大知会 19 — 13 沖繩国際大</p> <p>沖繩教員 13 — 9 沖繩国際大</p> <p>▽女子準々決勝</p> <p>沖繩教員 17 (9 1) — 5 大知会</p> <p>沖繩教員 8 — 4 大知会</p> <p>▽女子準決勝</p> <p>小祿OG 18 — 10 前原高</p> <p>浦添高 11 — 5 中部商高</p> <p>コザ高 8 — 2 首里高</p> <p>▽同準決勝</p> <p>興南高 9 — 4 沖繩国際大</p> <p>浦添高 9 — 4 小祿OG</p> <p>興南高 7 — 2 コザ高</p> <p>▽同決勝</p> <p>興南高 9 (3 6) — 1 3 4 浦添高</p> <p>▽佐賀県立体育館</p> <p>▽男子準々決勝</p> <p>佐賀教員 31 — 9 相知ク</p> <p>神埼ク 15 — 13 佐賀商OB</p> <p>県高校選抜 11 — 8 白石ク</p> <p>ブリヂス 19 — 10 自衛隊目達原</p> <p>▽同準決勝</p> <p>佐賀教員 13 — 12 神埼ク</p> <p>ブリヂス 6 (分) 6 県高校選抜</p> <p>トニ鳥栖 PTコンテストでBS鳥栖の勝</p> <p>▽同決勝</p> <p>佐賀教員 11 (4 1) — 5 8 ブリヂス</p> <p>▽女子1回戦(1試合)</p> <p>県高校選抜 13 — 2 甲斐愛球会</p> <p>▽同準決勝</p> <p>神埼ク 3 — 0 県高校選抜</p> <p>神埼農高3年 7 — 5 佐賀女OG</p> <p>▽同決勝</p> <p>神埼ク 6 (3 3) — 1 1 5 神埼農高3年</p>	<p>▽女子準々決勝</p> <p>松 任 13 — 12 小松商</p> <p>大 谷 23 — 0 短大高</p> <p>星 稜 4 (延) 3 津 幡</p> <p>金沢商 13 — 3 宝 達</p> <p>▽同準決勝</p> <p>大 谷 14 — 0 星 稜</p> <p>松 任 7 — 6 金沢商</p> <p>▽同決勝</p> <p>大 谷 10 (4 6) — 0 0 松 任</p> <p>(注)小松市女(全日本高校1位)は不出場</p> <p>▽石川県高校新人大会(11月、小松市体育館)</p> <p>▽男子準々決勝</p> <p>小松商 16 — 11 泉 丘</p> <p>金沢市工 13 — 8 羽 咋</p> <p>県 工 13 — 17 大 井</p> <p>小松工 13 — 12 寺 井</p> <p>▽同準決勝</p> <p>小松商 15 — 6 金沢市工</p> <p>小松工 16 (延) 11 県 工</p> <p>▽同決勝</p> <p>小松工 20 (13 7) — 4 7 11 小松商</p> <p>▽女子準々決勝</p> <p>松 任 13 — 12 小松商</p> <p>大 谷 23 — 0 短大高</p> <p>星 稜 4 (延) 3 津 幡</p> <p>金沢商 13 — 3 宝 達</p> <p>▽同準決勝</p> <p>大 谷 14 — 0 星 稜</p> <p>松 任 7 — 6 金沢商</p> <p>▽同決勝</p> <p>大 谷 10 (4 6) — 0 0 松 任</p> <p>(注)小松市女(全日本高校1位)は不出場</p> <p>▽愛知県高校新人大会(11月、岡崎北高)</p> <p>▽男子準々決勝</p> <p>名古屋市工 12 — 11 名古屋市工芸</p> <p>中 京 18 — 13 春日井</p> <p>豊橋工 11 — 9 岡崎</p> <p>桜台 6 — 5 愛知</p> <p>▽同準決勝</p> <p>名古屋市工 13 — 6 中 京</p> <p>▽同3位決定戦</p> <p>豊橋工 14 — 11 桜台</p> <p>▽同決勝</p> <p>桜台 11 — 9 中 京</p> <p>▽女子準々決勝</p> <p>名古屋市 17 (8 9) — 4 8 豊橋工</p> <p>▽同準決勝</p> <p>名古屋商 6 — 4 若宮商</p> <p>市 郷 14 — 9 岡崎</p> <p>緑ヶ丘商 8 — 6 蒲郡東</p> <p>岩 津 15 — 3 一 宮</p> <p>▽同準決勝</p> <p>市 郷 16 — 7 名古屋商</p> <p>岩 津 14 — 3 緑ヶ丘商</p> <p>▽同3位決定戦</p> <p>名古屋商 10 — 4 緑ヶ丘商</p> <p>▽同決勝</p> <p>市 郷 8 (3 5) — 1 1 4 岩 津</p> <p>▽第9回沖繩県総合選手権(11月・沖繩高)</p> <p>▽男子準々決勝</p> <p>沖繩国際大 22 — 12 小祿OB</p> <p>琉球大 20 — 5 北山高</p> <p>大知会 13 — 4 那覇商高</p> <p>沖繩教員 32 — 15 浦添高</p> <p>▽同準決勝</p> <p>沖繩教員 13 — 9 琉球大</p> <p>大知会 19 — 13 沖繩国際大</p> <p>沖繩教員 13 — 9 沖繩国際大</p> <p>▽女子準々決勝</p> <p>沖繩教員 17 (9 1) — 5 大知会</p> <p>沖繩教員 8 — 4 大知会</p> <p>▽女子準決勝</p> <p>小祿OG 18 — 10 前原高</p> <p>浦添高 11 — 5 中部商高</p> <p>コザ高 8 — 2 首里高</p> <p>▽同準決勝</p> <p>興南高 9 — 4 沖繩国際大</p> <p>浦添高 9 — 4 小祿OG</p> <p>興南高 7 — 2 コザ高</p> <p>▽同決勝</p> <p>興南高 9 (3 6) — 1 3 4 浦添高</p> <p>▽佐賀県立体育館</p> <p>▽男子準々決勝</p> <p>佐賀教員 31 — 9 相知ク</p> <p>神埼ク 15 — 13 佐賀商OB</p> <p>県高校選抜 11 — 8 白石ク</p> <p>ブリヂス 19 — 10 自衛隊目達原</p> <p>▽同準決勝</p> <p>佐賀教員 13 — 12 神埼ク</p> <p>ブリヂス 6 (分) 6 県高校選抜</p> <p>トニ鳥栖 PTコンテストでBS鳥栖の勝</p> <p>▽同決勝</p> <p>佐賀教員 11 (4 1) — 5 8 ブリヂス</p> <p>▽女子1回戦(1試合)</p> <p>県高校選抜 13 — 2 甲斐愛球会</p> <p>▽同準決勝</p> <p>神埼ク 3 — 0 県高校選抜</p> <p>神埼農高3年 7 — 5 佐賀女OG</p> <p>▽同決勝</p> <p>神埼ク 6 (3 3) — 1 1 5 神埼農高3年</p>
---	---

盛岡市役所が初優勝

▼第一回盛岡市(岩手)社会入り
 一ゲ(6月)11月・盛岡)

- 岩手日報 16—12 岩手フェザント
- 盛岡市役所 13—12 山王ク
- 県職ク 34—9 石桜ク
- 岩手トヨペット 16—11 白亜百星
- 山王ク 18—15 岩手フェザント
- 盛岡市役所 15—9 岩手日報
- 県職ク 17—16 白亜百星
- 県職ク 9—6 岩手トヨペット
- 岩手フェザント 28—15 石桜ク
- 山王ク 15—12 県職ク
- 盛岡市役所 22—13 石桜ク
- 岩手日報 14—11 白亜百星
- 岩手トヨペット 18—10 岩手フェザ
- 盛岡市役所 16(分) 16 県職ク
- 岩手日報 不戦勝 山王ク
- 山王ク 17—13 岩手トヨペット
- 石桜ク 10(分) 10 岩手日報
- 白亜百星 24—15 岩手フェザント
- 山王ク 27—8 石桜ク
- 盛岡市役所 19—12 白亜百星
- 県職ク 12—9 岩手日報
- 石桜ク 12—11 白亜百星
- 岩手トヨペット 15—11 岩手日報
- 岩手フェザント 15—11 県職ク
- 山王ク 21—11 白亜百星
- 盛岡市役所 15—9 岩手トヨペット
- 岩手トヨペット 15—7 石桜ク
- 盛岡市役所 26—19 岩手フェザント

手日報3勝1分3敗⑥岩手フェザ
 ント・ク2勝5敗⑦石桜ク1勝1
 分5敗⑧白亜百星1勝6敗

下関中央工、岩国工破る

- 山口県高校トーナメント(11月
 岩国工高)
- ▽男子準々決勝
 岩国工 13—11 下関一
 下関中央工 31—9 山口
 宇部工 9—8 下松工
- 岩国 24—4 防府商
- ▽同準決勝
 下関中央工 14—8 岩国工
 岩国 20—3 宇部工
- ▽同決勝
 下関中央 13(7—7) 11 岩国
 工 6(4—4)
- ▽女子準々決勝
 岩国商 14—3 宇部女
 田部 9—3 防府商
 徳山 10—7 高木
 山口中央 8—2 岩国
- ▽同準決勝
 岩国商 9—4 田部
 徳山 11—6 山口中央
- ▽同決勝
 徳山 7(5—1) 5 岩国商
 2(1—4)

女子で仁愛が勝つ

- ▼福井県高校新人大会(11月、敦
 賀市立体育館)
- ▽男子決勝トーナメント1回戦(2
 試合)
 若狭 15—4 武生商

高志 15—7 武生
 同準決勝
 若狭 11—6 藤島
 羽水 18—8 高志
 同決勝
 若狭 12(6—6) 8 羽水
 6(1—1)

男女とも三本松強味

- ▼香川県下高校新人大会(11月、
 高松工芸高)
- ▽男子決勝トーナメント1回戦
 三本松 21—4 高松南
 高松工芸 10—6 高松一
 三本松 15—5 高松一
 高松工芸 15—6 高松南
 高松一 9—6 高松南
 三本松 11—9 高松工芸
- 【順位】①三本松②高松工芸③高松
 一④高松南
- ▽女子1回戦(2試合)
 三本松 11—2 高松中央
 高松一 19—2 高松商
- ▽同準決勝
 三本松 10—4 高松
 高松一 8—5 高松南
- ▽同決勝
 三本松 9(3—2) 4 高松一
 6(2—2)

岡山女子は金川制す

- ▼第30回岡山県高校新人大会(11
 月、津山商高)
- ▽女子準々決勝
 西大寺 7—6 操山
 津山商 8—3 津山
 青陵 4(分) 4 真備
 PTコンテスト2—1で青陵の
 勝
- 金川 6—1 大安寺
- ▽同準決勝
 津山商 10—4 西大寺
 金川 10—1 青陵
- ▽同決勝
 金川 4(2—1) 3 津山商
 2(1—1)
- ▽男子準々決勝
 天城 11—10 児島
 邑久 11—6 金川
 岡山工 12—5 芳泉
 倉敷工 13—6 水島工
- ▽同準決勝
 天城 12—11 邑久
 倉敷工 25—4 岡山工
- ▽同決勝
 倉敷工 19(13—7) 11 天城
 13(6—4)

旧田村紡勢で新チーム

【速報】昨年末、部活動の休止を発
 表した女子・田村紡(三重)本誌
 29頁参照の主力選手10人が、大
 手スパー「ジャスコ」に移り、
 今春4月から新チームを結成する
 ことが、1月22日明らかにされ
 た。

★編集後記

□……オリンピックキヤーが明
 け、最初の本誌をお届けします
 半年後、モントリオールに男
 女両チームが揃って登場するこ
 とを期待——というよりも確信
 したいものです。

□……昨年末、各報道機関の年
 間回顧で、女子ハンドボールの
 密室試合が、異常なできごと
 として掘りかえされました。

競技以外のことで、あまりに
 も問題が多い昨今の日本ハンド
 ボール界です。

今年、コート上の明かるとい
 う話題が続出しますように。

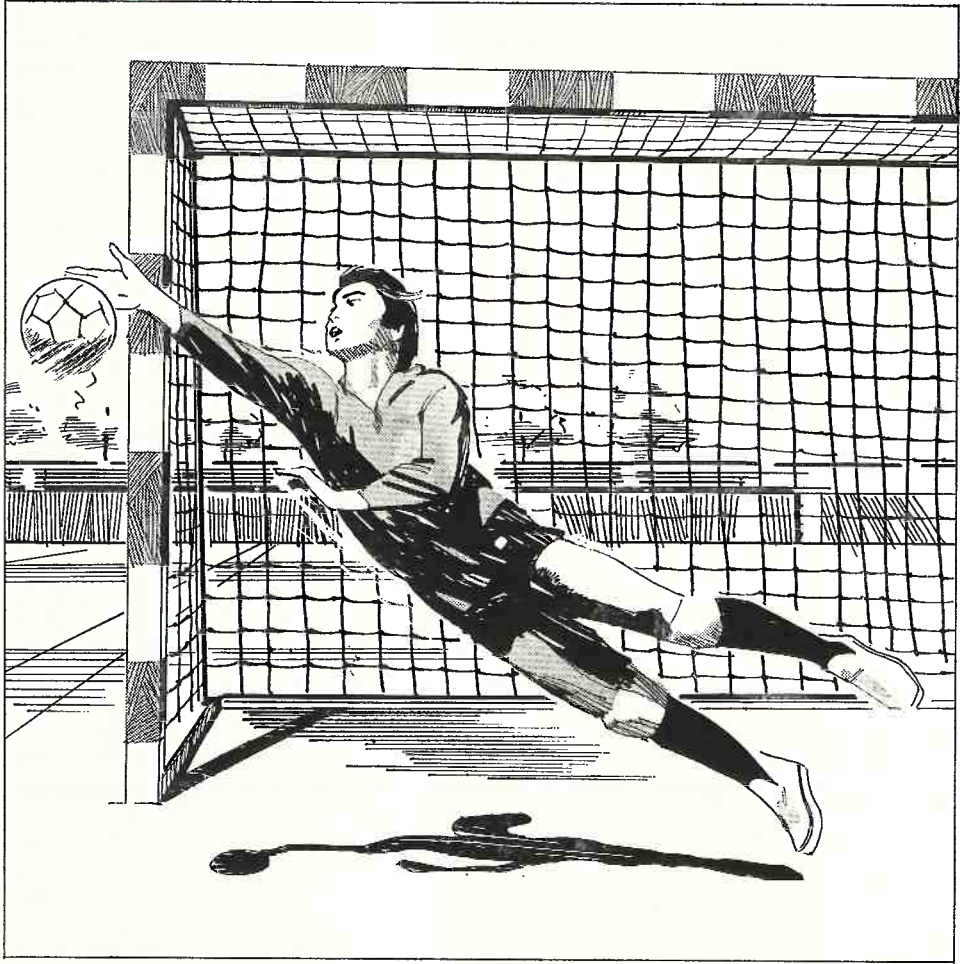
(杉山)

□……早いものでこの仕事を始
 めて半年が過ぎてしまいました
 唯一のハンドボール誌として
 私の小さい頃からずっと発行さ
 れてきた機関誌。

私などまだハンドボールの「
 ハ」の字もわからない状態です
 るハンドボール誌が一冊という
 のは悲しいことですが、それだ
 けに新年を迎え新たな気持ちで
 機関誌の内容をもっともっと多
 彩なものにしたいと思っています
 ます。どこまでできるかわかりま
 せんが頑張ります。

みなさんからの御意見をたく
 さんお待ちしています。


(青木)



堅実な守り…確かな勝利。

もし、ブラザーという企業をプレイヤーにたとえたとしたら、それは静かな闘志を内に秘めた、シャープなゴールキーパー。——はげしい企業競争の中でブラザーがひとつの地位を得ているとすれば、そんな精神があらゆる処で顔を出しているのかもしれない。

BROTHER
ブラザー

 ブラザー工業株式会社
ブラザーマシン販売株式会社

ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球

ミカド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592

TRADE MARK





オリンピックの技術が生きている。

東京、メキシコ、ミュンヘンと連続3回オリンピック試合球に選ばれたミカサの超高級ナイロン糸巻きの技術の粋がこのボールにもすべてに生かされています。

《科学のボール・完全防水……クラリーノ製(準検定)もあります。》

日本ハンドボール協会検定球




明星ゴム工業株式会社

広島・東京・大阪・福岡・名古屋・札幌

Molten

ハンドボール

■日本ハンドボール協会検定球
■国際ハンドボール連盟I.H.F公認球





モルテンゴム工業株式会社

日本ハンドボール協会公認球

セッター

サービス部
新宿区新宿2丁目電停前
TEL (341) 2979・1016




望月運動用品K.K.

東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622) 0746

日本ハンドボール協会公認球

ミムレスハンドボール

- パスワークのさえ
- オーソドックスなデザイン
- ハンドリングのよさ



タチカラ株式会社

